

# 令和3年度 山口市社会福祉協議会事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行や人口減少、過疎化、家庭や地域での支え合い機能の弱まりなどを背景として、貧困や虐待、ひきこもり、孤独（孤立）死、自殺など、地域の中でのさまざまな問題が深刻化している。

山口市においても、人口減少、少子・高齢化が進行しており、高齢化率は令和4年3月末で30.1%となっており、これに過疎化や孤立化、希薄化などの問題が加わり、通院や買い物などの日常生活に支障をきたす高齢者が増加する一方で、障がい者についても悪質な業者等から生命や財産を守る権利擁護の取り組みの構築が大きな課題となっている。

新型コロナウイルスの感染症は、収束が見込めないまま長期化しており、この状況が続くことで社会・経済状況は極めて厳しく、人と人との社会的つながりもさらに希薄化し、貧困や虐待、日常生活支援等の生活問題（課題）がますます深刻化することが懸念される。今後も、感染防止を図るために身体的な距離を取りながらも、「支え合い」という社会的なつながりを持ち続け、知恵を絞り、できる活動を工夫しながら取り組むことが必要となる。

本会としては、地域共生社会の実現に向けて「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の重点事業を中心に活動を行ったが、昨年度に引き続き、コロナ以前に行っていた活動は十分行うことは出来ず、マイクロバス運行事業は休止せざるを得なかった。また、要援護者への日常の見守り訪問活動については、「新しい生活様式」の実践例を取り入れ、工夫をしながらの取組となった。

日常の生活課題に対しては、生活支援コーディネーター（第1層及び第2層）を中心に、生活課題を拾い上げ、活動につなげる取り組みを進めた。

失業や休業等を背景に急増した生活困窮世帯に対しては、昨年度同様に、山口県社会福祉協議会やパーソナル・サポートセンターやまぐちと連携しながら、生活福祉資金（特例緊急小口資金、特例総合支援資金）の貸付を行い、昨年度より件数は減ったものの528件、2億2,111万円（令和4年3月末現在）の貸付による生活支援を行った。

介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービスについては、感染症対策の徹底や利用者や接触する際に工夫を凝らし、最大限の注意を払いながら、概ね通常とおりの支援を行った。

また、より地域に密着した活動を展開するため、高齢者人口が増加している嘉川地区、佐山地区、阿知須地区を管轄する「山口市川西第2地域包括支援センター」の運営を山口市から受託するための準備を進め、令和4年度から事務所を阿知須の元気ハウスC棟に開設した。小郡地区については、引き続き山口市川西地域包括支援センターで受託運営を担う。

第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画は4年次に当たるが、昨年度から社会状況が大きく変化したため、組織強化、財源確保、人材育成の3つの柱で計画の進行を図りながら、1年前倒しで第3次計画の策定にも取り掛かった。第3次計画は、第2次計画を踏襲しながら、課題を整理し、新たな課題に対しての協議も重ね、計画の骨格に当たる部門及び基本目標、実施項目までを決定することができた。令和4年度は、それに取組項目及び年次計画を加え、第3次計画を完成させていく。

また、同一労働同一賃金の適用遵守に基づいて令和2年度末に整備した就業関連規程を令和3年4月1日から施行し、運用を図った。

## **重点事業Ⅰ**

### 1 「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進

#### **主要事業**

- (1) 地区社会福祉協議会活動の支援
- (2) 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等のネットワークの構築
- (3) 見守り訪問活動及び災害時の地域支え合い活動の推進
- (4) 地域子育て支援機能の充実
- (5) 社会福祉法人の地域公益活動の支援
- (6) 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実
- (7) 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進
- (8) 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

## **重点事業Ⅱ**

### 2 「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進及び「第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の策定

#### **主要事業**

- (1) 自律した法人運営と「働き方改革」の推進
- (2) 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化
- (3) 社協の経営理念（※注）に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり
- (※注) 市町社協の経営理念（「全社協・生活支援活動強化方針」より抜粋）

〈令和2年7月第2次改定〉

- 1 地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- 2 誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現
- 3 地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- 4 地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出
- 5 持続可能で責任ある自律した組織経営

## 重点事業 I

### 「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進(平成30年度～令和4年度)

#### 1 「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の実行

○事業内容：平成29年度に策定した「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」実行の4年次にあたり本年度も、「みんなでともに支え合い、誰もがその人らしく、住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念に、「地域福祉を推進するひとづくり」「安全に安心して生活できる地域の輪づくり」「利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり」を基本目標に計画に基づく活動を推進した。

#### 【山口市地域福祉活動計画の実行(4年次の主な取り組み)】

##### 基本目標 1 地域福祉を推進するひとづくり

###### 活動目標1 地域福祉活動団体等の活動の推進と人材の育成

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
担い手の確保と育成の支援	・山口市ボランティア連絡協議会交流会を開催。 ・災害ボランティア研修会を開催。 ・山口市有償在宅福祉サービス担い手養成講座を開催。 ・意志疎通支援事業の実施。(音訳及び手話講習会の実施・音訳及び点訳ボランティアグループ会議の実施)	・P78 ・P24, 25 ・P19 ・P23, 24
団体間の交流促進と効果的な情報発信	・広報紙「こちら社協です」を発行。 ・広報紙「ボランティアやまぐち」を発行。 ・本会ホームページに山口市ボランティア連絡協議会加入グループの一覧表を掲載。 ・山口市ボランティア連絡協議会交流会を開催。	・P78 ・P23 ・P78, 79 ・P78
新たな財源の確保	・既存の社協会員会費や共同募金にて新たな事業所に協力を依頼。	・P68,73

###### 活動目標2 福祉教育の推進とユニバーサルデザインの啓発

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
福祉体験学習の推進	・各地区福祉員協議会等で福祉体験学習を実施。(実施地区:宮野) ・市内各小・中学校を対象に、福祉体験学習の相談や福祉体験学習器材貸出の依頼に対応。 ・福祉教育推進協力校の指定と福祉教育の推進。	・P25 ・P25 ・P25～28
関係機関・団体の連携強化	・福祉教育推進協力校を対象とした情報交換会を開催。	・P27, 28
思いやりの心を育むためのふれあいの場づくり	・八坂小学校では学校周辺の清掃活動を行い、地域住民との交流を図った。	・P14

ユニバーサルデザインやバリアフリーの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市内の学校に、ユニバーサルデザイングッズを紹介し、啓発を図った。</li> <li>・福祉教育の啓発用 DVD を作成した。</li> </ul>	・P25
-------------------------	---	------

### 活動目標3 企業の社会貢献活動や福祉施設の地域貢献活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
社会・地域貢献活動の周知・啓発、情報交換の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国電力株式会社山口支社及び山口営業所による施設での電気設備の点検・清掃活動(照明器具(交換含む)、空調、換気扇等の清掃活動等)の実施。</li> <li>・山口ヤクルト販売株式会社による地区福祉員協議会定例会(宮野地区)やサロンでの健康講座の実施。</li> <li>・ファーストリテイリング株式会社による地区福祉員協議会定例会やサロンでの貧困・環境問題講座の実施。</li> <li>・企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦。</li> <li>・企業の社会貢献活動の情報交換会(山口県社会福祉協議会と共催)を開催。</li> <li>・山口市福祉員連絡協議会研修会で有限会社かとうを講師に講演を実施。</li> <li>・株式会社サンキによる山口市有償在宅福祉サービス事業で高齢者の栄養についての講座を開催。</li> <li>・丸石製薬株式会社による地区福祉員協議会定例会で消毒等の講座を開催。</li> <li>・有限会社仁成堂による地区福祉員協議会定例会で風邪予防講座を開催。</li> </ul>	・P28
社会福祉法人地域公益活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の一員として、市内の社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動に取り組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進した。</li> </ul>	・P45, 46

## 基本目標2 安全に安心して生活できる地域の輪づくり

### 活動目標1 地域の生活課題の発見・把握と解決の仕組みづくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
地域の生活課題や住民の個別課題を発見・把握する仕組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画の対象となる地域の地区社協において、策定委員会開催にあわせて、生活課題の把握を行うため会議等を行った。</li> </ul>	・P8, 9

地域の生活課題や住民の個別課題を解決する活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次計画策定の支援:(対象地区:出雲 八坂 )</li> <li>・第4次計画策定の支援:(対象地区:仁保 佐山 )</li> <li>・地区福祉員定例会や地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し、住民の生活(福祉)課題の情報収集及び情報提供を行った。</li> <li>・各地区について、地域の要援護者の把握と見守り方法の確認。特に、見守り訪問グループ員研修会で民生委員・児童委員や福祉員、地域包括支援センター職員、地区社協職員、本会職員などが一緒になり、コロナ禍での見守り方法や効果的にすすめる方法、また、個人情報取り扱いについてなどを議題に研修会を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8, 9</li> <li>・P17,79,80</li> <li>・P29～31</li> </ul>
---------------------------	---	---

### 活動目標2 地域交流の場づくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
高齢者の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン開設に関する相談支援。</li> <li>・新規サロンの開設支援。(3件)</li> <li>・本会登録サロンの活動支援。(266件)</li> <li>・ふれあい・いきいきサロンの運営費支援。(33件)</li> <li>・サロン情報紙の発行。(年6回)</li> <li>・器材の貸出。(135件)</li> <li>・ふれあい・いきいきサロン交流会(高齢者サロンと子育てサロン合同)の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P11～13</li> </ul>
子育て家庭の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい・いきいきサロン交流会(高齢者サロンと子育てサロン合同)の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P12</li> </ul>
障がい者の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市ふれあいレク大会への協力(開催:山口市障害者団体連合会)コロナ感染防止のため中止。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P79</li> </ul>
地域住民の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の種まきリーディング事業の実施。(14件)</li> <li>・広報紙「こちら社協です」や地区民生委員児童委員協議会、地区福祉員協議会定例会等でサロン活動について周知を図った。</li> <li>・地域住民グループ支援事業の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P13, 14</li> <li>・P78</li> <li>・P11</li> </ul>

### 活動目標3 地域の支え合い活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
一人暮らし高齢者等の見守り訪問活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地区見守り訪問グループ員研修会(主催:地区社協)の開催支援。</li> <li>・「高齢者保健福祉総合調査票」による見守り対象者の把握、取りまとめ。 (見守り訪問対象者 総数:4, 119件、総グループ数:816グループ)</li> <li>・188見守りネットワーク連携会議(主催:山口県)に出席。</li> <li>・「ふれあい型給食サービス事業」の推進。</li> <li>・食品衛生(食中毒対策)研修会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> <li>・P29</li> <li>・P31</li> <li>・P32</li> </ul>

認知症高齢者等の見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域で実施された認知症高齢者等に対する取組みについての情報収集。</li> <li>・鑄銭司地区社協が認知症模擬訓練を実施。</li> <li>・小郡地区社協が認知症模擬訓練を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P54～56</li> <li>・P55</li> </ul>
地域の支え合い活動の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援コーディネーターの設置。</li> <li>・介護予防・生活支援サポーター養成講座。1回開催(大殿地区) ※大殿地区社会福祉協議会と協力し開催。</li> <li>・地区社協の会議及び小地域福祉活動計画策定委員会等を通じて、地区社協の運営・活動支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P19, 20</li> <li>・P20, 21</li> <li>・P8, 9</li> </ul>

#### 活動目標4 災害時の要配慮者支援活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
地域の共助による避難支援体制づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画へ災害支援に関する計画を盛り込むよう助言。</li> <li>・災害時等地域支え合いマップの作成支援及び避難行動要支援者名簿のマイプラン作成の周知を市と連携して情報提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8, 9</li> <li>・P29～31</li> </ul>
災害ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア研修会の開催。</li> <li>・災害ボランティアセンター模擬訓練の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P24, 25</li> </ul>

#### 活動目標5 安全に暮らせる交通安全・防犯活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
児童、生徒等の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8, 9</li> </ul>
地域の防犯体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8, 9</li> </ul>
詐欺、悪質商法等からの被害防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口南警察署が発行する『メルマガニュース』を地区福祉員協議会定例会において配布し、地域のひとり暮らし高齢者等へ注意喚起。</li> <li>・山口市消費者生活センターや山口県防犯連合会と協力し、見守り関係者へ周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P17, 18</li> <li>・P29～31</li> </ul>

#### 活動目標6 民生委員・児童委員及び福祉員活動の推進

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
民生委員・児童委員の活動強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口市民生委員児童委員協議会の3部会で研修会を開催。</li> <li>・地区毎に対象者の割当を行い、各地区で見守り方法や、相談体制の在り方など全国民生委員児童委員連合会が作成した、「訪問活動、相談活動の基本」で、研修会を実施。</li> <li>・地域の見守り活動について「小地区見守り訪問活動とは」のDVD研修を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P79, 80</li> <li>・P79, 80</li> <li>・P29～31</li> </ul>

福祉員活動の強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任福祉員研修会の開催(コロナ感染予防対策のため中止)</li> <li>・福祉の輪づくり運動関係者研修会の開催。(コロナ感染予防対策のため中止)</li> <li>・地域福祉推進セミナーの開催。(主催:山口県社協)。(コロナ感染予防対策のため中止)</li> <li>・新任福祉員研修会等に代わり各地区福祉員定例会等で、福祉員活動について地区担当職員より説明。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P17</li> <li>・P11</li> <li>・P17</li> </ul>
民生委員・児童委員と福祉員の連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区において民生委員児童委員協議会と福祉員協議会が合同で見守り等の研修会を開催するよう支援するとともに、会議や研修会に出席し、見守り方法の注意点などを助言。</li> <li>・共通認識を図るため、福祉サービス等の情報提供等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> <li>・P78</li> </ul>

### 基本目標3 利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり

#### 活動目標1 新たな包括的支援体制づくり

活動名	市社協の取り組み	該当ページ
相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員ブロック別研修会にて、初期相談に関する窓口等を周知。(延3回)</li> <li>・民生委員・児童委員の部会にて、相談機関の窓口についての研修会を実施。</li> <li>・各地区民生委員児童委員協議会へ、「訪問活動、相談活動の基本」のDVDを貸し出し、研修会を実施。</li> <li>・民生委員・児童委員の定例会にて、地域包括支援センター職員が出席し、高齢者の初期相談に速やかに対応。</li> <li>・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)研修会等にて、相談支援のポイントの説明。</li> <li>・相談関係機関相談員研修会(主催:山口県社協)に参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P79,80, 81</li> <li>・P79,80,81</li> <li>・P29～31</li> <li>・P79～81</li> <li>・P29～31</li> <li>・P73, 74</li> <li>・P74</li> </ul>
福祉課題等の解決に向けた取組みと福祉関係機関・団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区福祉員協議会に出席し、地域の福祉ニーズの把握に努めた。</li> <li>・地域福祉権利擁護事業に関する相談が関係機関各所から寄せさせた。必要時には成年後見に関する関係機関と連携を図った。</li> <li>・法人成年後見事業受任件数 3件</li> <li>・福祉の輪づくり運動推進者に対して研修会を実施。</li> <li>・山口市介護サービス提供事業者連絡協議会が開催された研修会の周知を関係機関に行った。</li> <li>・福祉施設や事業者が行う専門的研修会について、関係機関へ周知。</li> <li>・ホームページにて当事者団体の把握と紹介。</li> <li>・市社協広報紙にて、苦情解決制度及び第三者委員会制度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P17, 18</li> <li>・P46, 47</li> <li>・P47</li> <li>・P11</li> <li>・P77</li> <li>・P77</li> <li>・P17, 18</li> <li>・P77</li> <li>・P17,18,74</li> </ul>

	<p>の周知。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が中央包括圏域及び川東圏域に設置した「ふくまる相談室」の周知を福祉員協議会に情報提供。</li> </ul>	
制度横断的な福祉サービス提供の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の狭間の問題に対応できる制度の周知。</li> <li>・ひきこもり等への理解を深める一般公開講座の開催支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P45, 46</li> <li>・P24</li> </ul>
新たな包括的支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り訪問グループ等の充実を図り、問題の早期発見に努めた。</li> <li>・生活困窮者に対し、相談支援、各種資金の貸付や食糧支援を行うとともにパーソナル・サポートセンターやまぐち等と連携し、自立に向けて調整。</li> <li>・生活支援コーディネーターを、本所に2名体制で配置し、各地域包括に配置された第2層の生活支援コーディネーターと連携をとりながら、高齢者等のニーズ把握及び支援体制づくりに向けた協議。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P29～31</li> <li>・P48, 49</li> <li>・P19, 20 P56</li> </ul>

## 主要事業

### 1 小地域福祉活動計画に基づく地区社会福祉協議会活動の支援

#### (1) 小地域福祉活動計画策定及び実行委員会の開催 \* 受託事業

事業名	地区社協名	会議回数
第1次小地域福祉活動計画の策定	全地区実施済み	—
第2次小地域福祉活動計画の策定	全地区実施済み	—
第3次小地域福祉活動計画の策定 (令和4年度～令和8年度)	出雲	4
※ 座談会等を開催し、第3次計画を策定する	八坂	7
第4次小地域福祉活動計画の策定 (令和4年度～令和8年度)	仁保	3
※ 座談会等を開催し、第4次計画を策定する	佐山	5
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	島地	3
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	柚野	2

事業名	地区社協名	会議回数
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	小郡	3
	阿知須	3
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	秋穂	2
	阿東	3
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	吉敷	4
	陶	3
	名田島	2
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	大歳	3
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	湯田	3
	平川	4
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	大内	3
	串	2
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	小鯖	2
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	白石	3
	宮野	3
	秋穂二島	3
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	嘉川	3
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和3年度～令和7年度)	大殿	3
	鑄銭司	2

### 《成果と課題》

「小地域福祉活動計画」の策定に着手した地区は、現行計画の中で取り組んできた5年間の各事業を総点検する機会となった。

また、その他の地区で実施された「小地域福祉活動計画実行委員会」は、現行小地域福祉活動計画の進行管理(進捗状況の確認)の場や地域づくり計画等との調整を行う場となっている。コロナ禍の中であったため、実行委員会を開催できない地区もあった。

なお、地域の福祉課題としてコロナ禍ならではの課題、見守り活動の方法、高齢者の孤立および買い物等の移手段の確保などがでており、それに対応できるように地域、行政及び関係機関と課題に向けて対応することが必要になってきている。

### (2) 山口市地区社会福祉協議会会長・事務局長・事務局員連絡会議の開催

本会議は、本会主催の会議として「市社協の事業説明」等を行っていたが、山口市地区社会福祉協議会連絡会の中の議題に位置づけて実施されることになった。次年度以降も山口市地区社会福祉協議会連絡会の中で実施されることになった。

### (3) 山口市地区社会福祉協議会連絡会の運営

#### 1. 会議・研修テーマ（目標）

各地区社協の代表者が集い、相互の情報交換と研修を行うことで、各地区の取り組みや課題を共有し、それぞれの小地域福祉活動につなげるとともに、山口市の地域福祉活動の発展に資する。

#### 2. 会議・研修報告

会議・研修名	開催時期	内 容	対象者	会 場	当番地区
連絡会	6月7日（月） 午前9時30分～	1. 役員選任 2. 令和2年度事業報告 3. 令和3年度事業計画 4. 市社協各担当課からの事業説明 5. 地区敬老行事対象者名簿の配布	地区社協会長	県総合保健会館	—
研修会	11月25日（木） 午後2時～ ※8月26日に開催予定であったが コロナ蔓延防止で延期	1. 事務連絡（市社協事業等） 2. 事例発表「コロナ禍を踏まえた事業の現状や今後の取り組みについて」 市高齢福祉課 竹重氏 大殿地区社協 伊達会長 3. 情報交換会 4. マイクロバス運行事業について等	地区社協会長 事務局長・事務局員	維新みらいふ スタジアム会議室	（北部）
連絡会	3月23日（水） 午後1時30分～	1. 令和4年度地区社協連絡協議会事業計画（案） 2. 令和4年度市社協事業計画（案） 3. 次年度以降の災害時等地域支え合いマップについて（市高齢福祉課） 4. その他事務連絡 等	地区社協会長	県総合保健会館	—

役員会実施日 第1回 5月17日（月）しらさぎ会館  
 第2回 7月13日（火）本所会議室  
 第3回 10月18日（月）本所会議室  
 第4回 令和4年2月22日（火）本所会議室

### 《成果と課題》

市内25地区社会福祉協議会会長をもって組織する「山口市地区社会福祉協議会連絡会」が平成28年12月14日に発足され6年目となる。昨年同様新型コロナウイルス感染拡大予防のため会議の人数を減らし、時間を短縮して会議や研修会を行った。今年度は特に現在、事業停止中のマイクロバス等運行事業について役員会で協議し、連絡会でその内容を報告した。各地区社協からご意見を伺い、事業再開に向けて地区社協と一緒に事業について考えることができた。

## 2 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等ネットワークの構築

### (1) 福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会の開催

開催日	11月25日新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会場	山口県総合保健会館
参加者数	—
内容	—

### 《成果と課題》

不特定多数が集まる本研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。コロナ禍により、孤独死や詐欺被害等が増加しており、人と人のつながりが薄れていることが問題として挙げられる。対面での接触をなるべく避ける必要もある中で、どのような見守りを行っていくかが課題となっている。次年度は、まず研修会をコロナ禍でも開催できるような方法を工夫し、課題に沿った内容を検討していく。

### (2) 山口市地域住民グループ支援事業の推進 \* 受託事業

○事業内容: 地域において高齢者の生きがいと社会参加を促すとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を目的とするふれあい・いきいきサロン等の自主活動グループや山口市高齢者生きがいセンターの管理運営団体に対して支援を行った。

○ 補助金交付内容

【地域住民グループ】 全27箇所

グループ	運営費支援		会場費支援
	新規	2年目	
ふれあい・いきいきサロン	3箇所	5箇所	12箇所
サロン以外のグループ	0箇所	3箇所	7箇所
合計	3箇所	8箇所	19箇所

【高齢者生きがいセンター】 全4箇所

No.	地区	センター名
1	大内	大内の館
2	宮野	宮野やすらぎの里
3	鑄銭司	鑄銭司生きがいセンター
4	名田島	いきいきやかた

## 《成果と課題》

ふれあい・いきいきサロングループは、コロナ禍においても、山口市全体で3箇所の新しいグループが活動を開始され、運営費の補助等を行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動を休止するサロンもあり、補助を受けられなかったサロンもあった。今後も活動についての広報紙への掲載や、民生委員・児童委員及び福祉員、地区社協等の会合にて説明、PRをする場を設けていきたい。

### (3) ふれあい・いきいきサロンの推進

○事業内容：ひとり暮らし高齢者をはじめ、地域に住んでいる方々が生活に寂しさを感じたり、地域の中で孤立したり、家に閉じこもることがないように地域の中で楽しく過ごせる場をつくる活動を推進する。

○登録サロン数：266箇所

○新規登録サロン：3箇所

地 区	サロン名	開催日
宮 野	ふれあい・いきいきサロンさくら	第1木曜日
宮 野	ふれあい・いきいきサロンすずみ	第3木曜日
平 川	にこにこサロン大塚	第2木曜日

○ふれあい・いきいきサロンレクリエーション講習会 実施状況

・実施回数：全12回実施(予定は16回であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため、8～9月分を中止)

・延参加者 102名

・講習会の内容：転倒予防体操とガンバルーン体操で元気に！、サロンでできる小物づくり(中止：製作材料のみ配付)、カイロプラクティックと健康講座、トイレットペーパー芯で作る花束、アロマと熱中症予防、クラフトハンドの小物入れづくり(中止)、軸体操で体を整えよう(中止)、銭太鼓(2回(内、1回中止))、絵手紙、折り紙、睡眠学、いきいき太極拳、植物のクラフトづくり、セルフ整体とセルフリンパで健康づくり、お手玉

○ふれあい・いきいきサロン講師派遣事業(サロンお助け隊) 実施状況

・登録講師：57(個人・団体) ・派遣実績：62回

○ふれあい・いきいきサロン器材貸出 実施状況

・貸出実績 135回

○子育てサロン担い手交流会の開催

・高齢者サロンと子育てサロン合同で開催

○ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

※高齢者サロンと子育てサロン合同で開催

①開催日：11月8日(月)

②会 場：山口県総合保健会館

③内 容：サロンの活動紹介 1部(秋穂地区)あうんの会／2部(阿東地区)サロンみどり  
レクリエーション ACP(アクティブチャイルドプログラム)の紹介及び指導について  
グループワーク 『みんなで話してみませんか～コロナ禍でのサロン活動～』

④参加者： 1部39名 2部68名

## 《成果と課題》

本年度は新規に登録されたサロンが3箇所あった。交流会では、今年度も高齢者サロンと子育てサロン合同で新型コロナウイルスの感染対策をしながら、1部・2部と人数を分けて開催した。

ふれあい・いきいきサロン器材貸出事業については、身体を使う器材の人气が高かった。また、コロナ禍により、飛沫感染や接触感染を防ぐため、DVD やビデオ等の声を発さず楽しめる器材の貸出も増えた。本会保有貸出器材の写真をホームページに掲載し、ゲームの貸出の促進につながるように努めた。

講師派遣事業では、健康づくりのための運動や講座を行う講師や音楽や演芸等鑑賞できる活動を行う講師が人気を博した。楽器演奏やメイク講座を行う講師の登録が増えた一方、活動を中止される講師もいた。新しい人材の発掘が課題である。

## (4) 福祉の種まきリーディング事業の推進 \* 受託事業

事業内容：地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体等と協力して、地域住民が気軽に地域福祉活動に参加できる事業として実施し、地域に福祉活動の芽を育てることを目的とする。

No	地区	事業区分／事業名	実施団体名	実施日	実施場所
1	大殿	地区サロン連絡会議開催事業／大殿地区サロン交流会	大殿地区社会福祉協議会	10月29日(金)	大殿地域交流センター
2	白石	地区サロン連絡会議開催事業／いきいきサロン研修会	白石地区社会福祉協議会	11月12日(金)	白石地域交流センター
3	白石	地域課題解決実践事業／西惣にこにこ食堂(子ども食堂)	白石地区社会福祉協議会	9月・10月・11月・12月・1月・2月3月	アスライフ 白石地域交流センター
4	小鯖	地区サロン連絡会議開催事業／ふれあい・いきいきサロン連絡会	小鯖地区社会福祉協議会	令和4年 2月16日(水)	小鯖地域交流センター
5	宮野	地区サロン連絡会議開催事業／宮野地区サロン運営連絡協議会	宮野地区社会福祉協議会	令和4年 2月22日(火)	宮野地域交流センター
6	宮野	「避難行動要支援者等」の避難訓練事業[災害ボランティア養成事業も可]／高齢者等要支援者のためのブロック避難計画運営支援事業	宮野地区社会福祉協議会	7月12日(月)	宮野地区 県立大学避難所(厚生棟)
7	平川	地区サロン連絡会議開催事業／ふれあい・いきいきサロン連絡会	平川地区社会福祉協議会	11月5日(金)	平川地域交流センター
8	陶	高齢者・子育てサロン支援(お試しサロン)事業／高齢者・子育てサロン支援(お試しサロン)事業	陶地区社会福祉協議会	令和4年2月	陶高齢者生きがいセンター

9	小 郡	地区サロン連絡会議開催事業/小郡地区サロン代表者会議	小郡地区社会福祉協議会	令和4年 3月14日(月)	山口市社会福祉協議会南部支所 2階
10	小 郡	「避難行動要支援等」の避難訓練事業[災害ボランティア養成事業も可]/ 災害ボランティア研修会～ 災害ボランティアセンターの認識と運営について～	小郡地区社会福祉協議会	令和4年 3月8日(火)	山口市小郡地域交流センター
11	秋 穂	地区サロン連絡会議開催事業/地区サロン連絡会議	秋穂地区社会福祉協議会	12月10日(金)	秋穂総合支所第 2会議室
12	徳 地	学校と地域の福祉教育協働事業/地域合同環境整備作業	八坂小学校	11月25日(木)	八坂小学校周辺
13	阿 東	「避難行動要支援等」の避難訓練事業[災害ボランティア養成事業も可]/ 「避難行動支援等」の避難訓練事業	阿東地区社会福祉協議会	令和4年 3月24日(木)	阿東老人福祉センター大集会室 (地福)
14	阿 東	地域課題解決実践事業/ 地域課題解決実践事業	阿東地区社会福祉協議会	令和4年 1月27日(木) 2月22日(火)	阿東老人福祉センター大集会室 (地福)

## 《成果と課題》

新型コロナウイルス感染拡大防止により、実施件数は昨年度より多いが、コロナ禍前に比べ各地区の取り組みが減少している。しかし、地区で工夫をされ事業を実施されているところも増えつつある。また、今までもそうであるが、本事業の周知を地区社協に今まで以上に周知させるために、地域福祉課地区担当職員によるへ地区への周知を徹底させたい。なお、阿東地区サロン交流会は補助金申請はなかったが実施された。

## (5) 地域活性化推進事業の推進

地域活性化推進事業は、本会が旧支部ごとに築いてきた地域の特性を活かした地域福祉活動を引継ぎ、心豊かな地域づくりの実現を図るものである。

### 1) 阿知須地域活性化事業の実施

#### ○あじす元気ハウスの管理運営

- ・事業内容: 阿知須の旧商店街の空き地に建設した「あじす元気ハウス」の管理運営を行い、地域での交流を促進する。
- ・実施箇所: 山口市阿知須4226番地(寺河内区)

- ・組織：阿知須出張所内に元気ハウス運営委員会を設置し運営を行う。
  - ・提供サービス
    - \* ぼらんていあショップの運営(毎週木曜日と10日市開店) コロナのため中止
    - \* ふれあい祭り 11月10日(日)開催予定(A、B、C棟を終日開放)コロナのため中止
    - \* 地域住民に開放(趣味の会、同窓会、自治会定例会、自主グループの各種研修会など)
    - \* 障害のある方、その家族を対象とした憩いの場の開設(地域活動支援センターやまぐち事業)
  - ・利用人員
 

A棟	0名(前年度393名)
B棟	436名(前年度800名)
C棟	1,140名(前年度1849名)
- ※C棟は令和4年度から山口市川西第2地域包括支援センター事業所に移行する。

《成果と課題》

地域に元気ハウスがあることが浸透してきている。

今後も高齢者、障がい者、子どもなど誰もが、総合的な支援を手軽に利用でき、地域住民も主体的に運営に参画する総合循環型事業の取り組みを地域に周知し、理解を深めながら地域に根差した拠点として展開していきたい。 \* 新型コロナウイルス感染拡大防止で密集等防ぐ対応を行ったため利用者は減った。

**2) 徳地地域活性化事業の実施**

<19地区福祉部会の活動の充実・強化>

- ・事業内容：徳地地区には、福祉員を中心に民生委員・児童委員、自治会長等で編成された福祉部会が19地区に設置され、運営支援を運営主体である徳地5地区社会福祉協議会や徳地地区社会福祉協議会連絡協議会と連携して行っている。  
「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目的に、福祉部会員による情報共有やふれあい会(高齢者を中心とした地域交流行事)の開催等が行なわれている。
- ・支援内容
  - ①地区福祉部会への会議出席及び活動支援
  - ②地区福祉部会への補助金交付
  - ③各地区ふれあい会等への参加及び企画補助
- ・各地区福祉部会(17地区毎)の開催実績  
※深谷・小古祖地区福祉部会はコロナウイルス感染防止のため活動休止。  
なお、深谷地区福祉部会は2年連続の活動休止である。

開催数:33回開催                      延べ人数:318人

<各地区福祉部会のふれあい会の開催及び友愛訪問活動実績等>

部会名	開催日	内 容	参加者数
柚木	9月21日(火)	第1回ふれあい会(包括支援センターのお話と交流会)	19名
	10月25日(月)	第2回ふれあい会(グランドゴルフ大会)	23名
	令和4年3月22日(火)	第3回ふれあい会(老人クラブとの交流旅行)	15名
釣山	10月12日(火)	第1回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【野谷部会と共同開催】	12名
野谷	10月12日(火)	第1回ふれあい会(ポッチャ・交流会)【釣山部会と共同開催】	12名
	令和4年2月	友愛訪問活動(福豆、可燃ごみ袋配布)	19戸
八坂	11月30日(火)	第1回ふれあい会(ヤクルトの腸活教室、百歳体操)	42名
	令和4年3月10日(木)	第2回ふれあい会(ヘルスマイト健康講座、ゲーム)	49名

部会名	開催日	内 容	参加者数
船路		コロナウイルス感染予防のため、活動を自粛	
引谷		コロナウイルス感染予防のため、活動を自粛	
三谷	令和4年3月16日(水)	第2回ふれあい会(健康体操と交流会)	29名
深谷		コロナウイルス感染予防のため、活動を自粛	
小古祖		コロナウイルス感染予防のため、活動を自粛	
関・才谷・ 伏野・須路・ 中村	12月24日(金)	友愛訪問活動(75歳以上の方を対象に物品配布)	
		福祉員が各自治会で行事(健康体操、茶話会等)を実施	
堀・ 庄方	令和4年 2月19日 (土)～	友愛訪問活動(コロナ対策用品配布)	全戸
伊賀地	令和4年1月	ふれあい活動交流支援(カラオケセット購入)	
岸見	令和4年2月27日(日)	友愛訪問活動(75歳以上の独居の方へひな祭りお菓子配布)	20名
	令和4年2月27日(日)	百歳体操支援(岸見地区)の支援	
島地	令和4年3月	友愛訪問活動(マスク配布)	全戸
藤木	令和4年2月9日(水)	友愛訪問活動(マスク配布)	80戸
上村	令和4年1月25日(火)	第1回ふれあい会 (高齢者が知っておきたい法律知識と健康チェック)	13名
山畑	令和4年3月17日(木)	第1回ふれあい会(健康についてのお話とお楽しみ会)	26名
鯖河内	9月	友愛訪問活動(マスク配布)	全戸
	11月16日(火)	第1回ふれあい会(ゲームと交流会)	22名
串	9月	友愛訪問活動(ハンドソープ配布)	全戸
	11月9日(火)	第1回ふれあい会 (季節ごとの健康づくりのお話、健康チェックとゲーム)	24名

### 《成果と課題》

本事業は以前から本会が部会運営に深く関わりながら支援をしている状態であり、今後、福祉部会や運営主体である徳地5地区社会福祉協議会、徳地地区社会福祉協議会連絡協議会が事業実施主体となるように働きかける必要がある。

コロナ禍の活動として、例年のふれあい会だけでなく、友愛訪問活動や自治会単位で行われている百歳体操への支援等を行うことで地域と福祉部会とのつながりの強化が図られた。

ただ、コロナ禍で活動を自粛する部会も昨年度以上に増えているため、次年度は今年度以上に各福祉部会長や実施主体である徳地5地区社会福祉協議会や徳地地区社会福祉協議会連絡協議会と連携し、活動充実に努めたい。

### ③ 阿東地域活性化事業の実施

#### ○祭壇等備品の貸出事業

- ・事業内容:祭壇等を必要とされる家庭に祭壇等を無料で貸出する。
- ・貸出件数: 10件 (仏式 8件、神式 2件)

### 《成果と課題》

無償で祭壇等を貸し出すとともに設置及び撤収も行うこの事業は、阿東地域で広く知られ定着した事業といえる。しかしながら、現在は、人口減少・高齢化が進み自治会等での葬儀ができない状況にあり、本会の祭壇

利用は激減し多くが葬儀場等での葬儀となっている。このことから、この事業の必要性を検討する時期となっている。

## (6) 地域福祉の担い手の育成

### 1) 福祉員研修会の開催

(1) 新任福祉員研修会の開催→令和元年度までは市全域での研修会を実施していたが、令和2年度・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全体での研修会は行わず、各福祉員定例会時等に必要に応じて福祉員についての説明を行った。

○目的 地域福祉活動(福祉の輪づくり運動)の推進にあたり、福祉員としての基礎知識を習得することを目的に研修会を開催する。

### 2) 山口市福祉員連絡協議会の設置及び運営

○目的:各地区の福祉員代表者で構成し、福祉員活動の推進と情報交換を行うことを目的に開催する。

月 日	内 容	備 考
4月1日(木)	退任者・新任福祉員の名簿の提出、委嘱状・門標・ガイドブック等の配付、ボランティア活動保険の加入	
5月25日(火)	山口市福祉員連絡協議会(第1回) 【新型コロナウイルスのため延期し6月24日実施】	・事業報告・事業計画等について 山口市社会福祉協議会南部支所
6月24日(木)	山口市福祉員連絡協議会(第1回)	・事業報告、事業計画等について 山口勤労者総合福祉センター サンフレッシュ山口
8月23日(月)	山口市福祉員連絡協議会(第2回) 【新型コロナウイルス感染防止のため会議は中止し、 書面議決】	・輪づくり運動関係者及び福祉員 研修会について ・山口市福祉員連絡協議会研修に ついて 山口県総合保健会館
10月5日(火)	社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式	山口県総合保健会館
10月27日(水)	山口県総合社会福祉大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	山口市(KDDI維新ホール)
11月18日(木)	山口市福祉員連絡協議会研修会 【山口市事業について】 講師:山口市高齢福祉課 【事例発表】 「地方の中小零細企業でも継続できる企業貢献」 講師:有限会社かとう(仕出しのかとう)	山口県総合保健会館 第1研修室
11月25日(木)	山口市福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
令和4年 2月28日(月)	山口市福祉員連絡協議会(第3回)	・事業報告、事業計画 ・新任福祉員研修会について等 維新みらいふスタジアム

## 《成果と課題》

改選後の2年目、新型コロナウイルスの影響で新任福祉員研修会は、昨年に引き続き、各地区福祉員定例会等で、必要に応じて地区担当より福祉員の活動、役割等について説明を行った。

さらに、感染拡大防止対策を十分に行い、定期的に連絡会議(各地区の福祉員連絡協議会代表者同士の情報交換)を開催し、福祉員の活動上の課題等を話し合い、情報共有に努め、諸機関と連携して地域課題に取り組んだ。2回目の福祉員連絡協議会は新型コロナウイルス感染症防止のため書面議決で行った。

令和元年度までは福祉員連絡協議会で県内施設に視察に行っていたが、今年度も新型コロナウイルスが収束していない状況であり、座学研修で山口市高齢福祉課から「高齢者の見守りサービスについて」、有限会社かとうから「地方の中小企業零細企業でも継続できる企業貢献」について話をいただいた。

## (7) 有償在宅福祉サービス事業の推進

### 1) 有償在宅福祉サービス事業の実施

○事業内容:誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的に、高齢者や障がいを持っている方等が様々な理由で日常生活上の家事及び介護等で困っている時、その負担を少しでも和らげるために福祉に理解をもった地域の方々(協力会員)に訪問してもらい、身の回りのお手伝いをしていただく事業である。

利用会員	協力会員	賛助会員
103名	74名	18名・13団体

○サービスの内容の内訳

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
食事の支度・後片付け	43	介助	0	保育	0
住居等の掃除・整理・補修	571	話し相手	181	その他	60
衣類の洗濯・補修	13	通院介助	1	合 計	946
生活必需品等の買物	55	代筆・朗読	22		

○第1回協力会員研修・交流会⇒新型コロナウイルス感染症予防のため中止

○第2回協力会員研修・交流会⇒新型コロナウイルス感染症予防のため中止

○ふれあい新聞の発行:4回

## 《成果と課題》

初回相談件数は40件(新規利用会員は7名)であった。平成28年10月から山口市で介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、要介護認定でのサービス利用の流れが変わってきたこともあり、要支援1・2認定の方からの相談が増加している。利用者のニーズに対して専門的な対応が必要となる相談も増えている。本会としては、サービスを提供するだけでなく相談者に必要なサービスを見極め、他機関との連携を密に図ることも重要である。

### 2) 有償在宅福祉サービス事業協力会員公開講座の開催

○事業目的:協力会員の資質向上及び人材養成を図ることを目的に開催する。

○会 場:1回目:山口市社会福祉協議会南部支所(中止)

2回目:山口市社会福祉協議会南部支所

3回目:大内地域交流センター

○受講者:1回目:中止 2回目:7名 3回目:8名

○内 容

開催日	テーマ・内容	講 師
<第1回> 9月22日(水)	○コミュニケーション技術について ※新型コロナウイルス感染症防止のため中止	ハートホーム小郡 支店長 南 晴康 氏
<第2回> 10月14日(木)	○掃除について	一般社団法人山口県介護福祉 士会 高城 敏江 氏
<第3回> 10月29日(金)	○高齢者の栄養について	株式会社サンキ ニュートリショ ン課 川神 純子 氏

### 3) 有償在宅福祉サービス事業担い手養成講座の開催

○事業目的:人材養成(有償在宅福祉サービス事業協力会員の養成)を図ることを目的に開催する。

○会 場:1回目:山口勤労者総合福祉センター サンフレッシュ山口

2回目:山口市社会福祉協議会南部支所

○受講者:1回目:11名 2回目:11名

○内 容

開催日	内容・講師
令和4年 2月16日(水)	事業説明 有償在宅福祉サービスについて 山口市社会福祉協議会職員より説明 事例発表 協力会員 中原 美子 氏 テーマ「地域の支え合いについて」 講師:公立大学法人山口県立大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 長谷川 真司 氏
令和4年 2月22日(火)	テーマ「コミュニケーション技術について」 講師:ハートホーム 支店長 南 晴康 氏

### 《成果と課題》

有償在宅福祉サービス事業の課題となっている担い手(協力会員)不足を解消するため、養成講座を開催している。市社協だよりや福祉員定例会などで周知し、一般参加者もおられた。有償在宅福祉サービス事業協力会員公開講座では1名、有償在宅福祉サービス事業担い手養成講座は1名が新規協力会員として登録した。その他市社協だよりを見られて加入された方が1名おられた。今後ますます利用ニーズが増えることを想定し、本事業についてより広く周知ができるよう地域へ働きかけ、現協力会員の資質の向上と新たな会員の獲得につなげていく。

## (8) 生活支援・介護予防体制整備事業の推進

### 1) 生活支援コーディネーターの設置 \* 受託事業

○目的:山口市社会福祉協議会に2名の第1層生活支援コーディネーター(以下「1層」という。)、各地域包括センターに1名の第2層コーディネーター(以下「2層」という。)を配置し、高齢者の生活支援・介護

予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みの推進を行うため、既存の地域資源等を把握し、地域のニーズにあった生活支援サービスが行われるように、地域に不足するサービスの創出やサービスの担い手の養成、関係者間の情報共有やサービス提供主体間の連携体制づくりなどのネットワーク構築を進める。

#### ○事業内容

##### ①地域組織からのニーズ把握に関すること

・2層と地区社会福祉協議会を訪問し、地域課題や地域が求めている活動の担い手等について聞き取りを実施した。また、各地区の小地域福祉活動計画実行委員会、民生委員・児童委員会、福祉員会等の会議に出席し、生活支援コーディネーターの周知や情報の高齢者の生活課題や取り組みの情報収集をするとともに、支え合いの取り組み事例の情報提供等を行った。

○訪問地区 25地区

○地域の会議への出席 随時（小地域福祉活動計画策定委員会、実行委員会等）

##### ②不足する生活支援サービスの把握・調整・創出に関すること

・連絡定例会、エリア別会議の開催、各地区の話し合いの場等への出席により、現状把握と対策についての協議を行った。

##### ③地域資源の把握と見える化に関すること

・市内の家事援助、市社協事業等の社会資源情報をまとめた冊子の情報を更新し、各2層へ配付した。

##### ④ネットワーク構築に関すること

・基幹型地域包括支援センター、1層、2層の協議の場を設定し、事業推進における課題や方法等を検討・共有した。

○全体会議・連絡定例会 5回

○エリア別会議 47回

##### ⑤介護予防・生活支援サポーターと生活支援サービスとのマッチングに関すること

・平成31年度から調整業務が2層に移管された。

##### ⑥協議体の開催に関すること

・令和3年度第1回地域支え合い推進会議（第1層協議体）を開催し、民間の生活支援（主に家事援助）を行っている7事業とサービス内容等について情報交換を行った。

## 2) 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催

### \* 受託事業

・高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域での支え合い体制づくりを目指して、地域における住民等における介護予防や生活支援の取組の担い手となる人材の養成を目的に講座を開催している。

今年度は基礎編と応用編にわけ、養成講座を実施した。応用編では、基礎編を終了された方を対象に、活動の場を広げる一助とするため、「元気アップ体操の実演及び実技体験」等を実施、人材養成を行った。

#### <基礎編>

日時:11月11日(木)午後2時～ 受講者12名

会場:大殿地域交流センター1階 講座室

内容:①山口市生活支援体制整備事業について学ぶ

②ボランティア、ライフワーク(生きがい活動)について学ぶ

③実際の活動事例について学ぶ

#### <応用編>

日時:11月30日(火)午前10時～正午 受講者10名

会場:大殿地域交流センター1階 講座室

内容:①介護予防としての運動の効果

②やまぐち元気アップ体操の実演及び体験

③認知症サポーター養成講座プログラムの一部を体験

### 《成果と課題》

受講後、5名の方がなんらかの地域福祉活動に携わりたいとのアンケート回答をいただいたので、本人同意を得た方の情報提供を大殿地区社会福祉協議会に対して行った。各地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターの配置から3年が経過し、各地域の会合やつどいの場に参加されるようになり、より地域の社会資源、現状・課題等の情報把握や地域への働きかけができるようになった。今後も2層との協働により、各地区で高齢者の生活支援について理解を深めていきたい。

## (9) その他の生活支援・介護予防関連事業の推進

### 1) マイクロバス運行事業の実施

○事業内容：各地区にマイクロバスを配車し、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らし高齢者を市内及び近隣市町の公共・民間施設等に送迎し、生きがいと健康づくりを推進する。

### 《成果と課題》

新型コロナウイルスによる感染防止のため、令和2年度に引き続き令和3年度も運行を中止した。この間、事業運営について、山口市地区社会福祉協議会連絡会に提案し協議をしていただいた。

事業再開に向けて地区社協と一緒に事業について考えることができた。

### 2) チェアキャブの貸出

○事業内容：身体に障がいがあるため社会参加や外出が困難な方に、車いすのまま乗車できる車両の貸出を行う。運転は家族または知人が行う。

○チェアキャブの貸出

配置場所	件数	配置場所	件数	配置場所	件数
本所・北部支所	38	阿知須出張所	10	南部支所	102
徳地出張所	12	阿東出張所	15	秋穂出張所	7
				合計	184

### 《成果と課題》

チェアキャブは、在宅の車いす使用者の方々の遠方への外出や、通院時等に貸出を行い、喜ばれている。本年度は、昨年度と引き続き利用件数が増加し、なかでも南部支所での利用増加や通院等の利用による件数が増加している。このことから在宅介護（看護）を行う方が増加しているとも考えられる。チェアキャブと併せて車いすやスロープの貸出も可能であることを今後も市民へ周知する。また、貸出前に新型コロナウイルス感染予防対策として消毒を念入りに行った。

### 3) 福祉機器リサイクル事業の実施

\* 受託事業

○事業内容：車いす、介護用ベッド、ポータブルトイレ、歩行器などの福祉機器を無料で貸出す。

機器の種類	貸出件数	保有台数	機器の種類	貸出件数	保有台数
電動式ベッド	5	6	浴槽用手すり	3	4

機器の種類	貸出件数	保有台数	機器の種類	貸出件数	保有台数
歩行器	32	21	杖	14	25
車いす	211	150	松葉杖	2	20
介護テーブル	2	2	スロープ	3	5
シャワーチェアー	16	20	ポータブルトイレ	69	20
介助バー	0	1	浴槽台	4	6
手押し車	16	10	バスボード	0	3
オーバーテーブル	1	1	その他	5	23
			合 計	383	317

#### 《成果と課題》

福祉機器の貸出についての相談は例年多くあり、必要に応じて貸出や情報提供を行った。特に車いす、ポータブルトイレの貸出についての相談が多かった。情報提供は市社協だより、市社協HPや福祉員定例会などで行った。また、機器の老朽化による廃棄を行い、保管場所の確保や定期的なメンテナンスを行った。

#### 4) 移送サービスの実施

\* 受託事業

合併前に、山口陸運支局の許可により、地域限定の移送サービス事業として行っている。

地域	利用件数	登録台数
小郡	0	1
阿知須	12	2
阿東	0	1
合 計	12	4

#### 《成果と課題》

利用者は、車いす等のままで通院が必要な方が大半を占めている。地域によっては、民間介護タクシーの利用の増加等で利用者が減少傾向にあり、運転手(担い手)不足も課題である。

阿東地域では、平成29年度途中まで配置していた車両が、老朽化のため廃車になり、平成30年度から徳地出張所の車両を登録している。利用については、引き続き0件であった。阿知須地域では利用者が減少したことに伴い、利用件数も減少した。今後も本事業の方向性について市と連携しながら検討していく。

### (10) ボランティア活動の推進

#### 1) ボランティアグループの活動支援

○保険受付件数:基本タイプ4,457名、天災・地震補償タイプ183名

#### 2) ボランティア活動保険の掛金補助

○補助団体数61団体

#### 3) ボランティア活動に関する連絡調整

○事業内容:ボランティアに関する相談について、必要な情報の提供や関係機関への連絡調整を行う。

○相談件数:27件(個人11件、ボランティア団体2件、行政・関係機関7件、企業5件、その他2件)

○内 容:派遣依頼8件、活動紹介18件、その他1件

#### 4) 山口市ボランティアセンターの活用

○利用者数:597名(月平均50名)

#### 5) ボランティア活動器材の貸出

○貸出件数:2件

#### 6) ボランティア情報紙「ボランティアやまぐち」の発行

○発行回数:年6回(奇数月)

#### 7) 使用済み切手の収集

○毎月第2・4木曜日の午後から市ボランティアセンターで、使用済み切手の整理をボランティアが行っている。整理した切手は、切手収集家に送り換金され、ボランティア活動基金に積み立てている。

#### 8) 意志疎通支援事業の推進

○体験講座の開催

##### <音声訳公開講座> ※音声訳グループみずの会と共催

日 時:11月11日(木)午後1時~3時

場 所:しらすぎ会館

参加者:32名(市内の音声訳ボランティアグループ、朗読ボランティアグループなど)

講 師:フリーアナウンサー 白木 美和 氏

内 容:明瞭な発声について、聞く力について、わかりやすい表現方法について

##### <音声訳体験会> ※音声訳ボランティア小郡やまびこの会との共催

日 時:令和4年2月8日(火)午前9時30分~11時30分

場 所:小郡ボランティアセンター

参加者:3名

内 容:音声訳体験

##### <手話講座>

日 時:11月26日(金)午後6時30分~8時30分

場 所:小郡地域交流センター

参加者:7名

講 師:小郡手話友の会 会員

内 容:①聞こえないということは②聞こえない人とのコミュニケーションとは③手話とは④演習

○関係ボランティア団体の会議

##### <市内点訳グループ情報交換会>

日 時:7月12日(月) 午前10時~11時30分

場 所:小郡地域交流センター2階第2研修室

参加者:点訳のばらの会、点訳すぎなの会、小郡点訳サークルてんとう虫、点訳コムニオの会  
山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課

内 容:市役所からの点訳依頼について、災害時の盲者の避難について、福祉体験学習について

### <市内音声訳グループ情報交換会>

日 時:12月21日(火)午前10時~11時30分

場 所:山口市ボランティアセンター

参加者:音声訳グループみずの会、朗読グループまごころの会、小郡やまびこの会

山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課

内 容:情報交換(コロナ禍での活動など)、市社協・市との意見交換

### <点訳・音声訳グループ情報交換会>

日 時:令和4年3月7日(月)午後1時~2時30分

場 所:山口市社会福祉協議会南部支所

参加者:点訳のぼらの会、点訳すぎなの会、小郡点訳サークルてんとう虫、点訳コムニオの会

音声訳グループみずの会、朗読グループまごころの会、小郡やまびこの会

山口市障がい福祉課、山口市社会福祉協議会地域福祉課

内 容:情報交換(コロナ禍での活動について・市盲人福祉会との連携について・会員確保について)

市社協、市との意見交換

### 《成果と課題》

ボランティア活動に対する連絡調整は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により昨年同様コロナ禍前より減少した。コロナ禍前は、施設から行事を行うためボランティア活動者に来てもらいたいという相談が多かったが、今年度も昨年度同様に依頼は少なかった。また、外出自粛等の雰囲気はあるものの、コロナ禍ではあるが、ボランティア活動を始めたいという相談も複数あった。

また、市ボランティア連絡協議会の加入グループと協働で一般の方向けに体験講座を開催した結果、参加者が講座後、ボランティアグループに加入された。このように、既存グループと一緒に、人材発掘に努めていきたい。

コロナ禍でも可能なボランティア活動の紹介ができるように様々な関連機関と連携し、情報収集に努め、ボランティア活動のマッチングを行っていきたい。

## (11) ボランティア(ひとづくり)養成講座の開催

### 1) ひきこもり支援公開講座の開催

・山口市介護者の会及び山口市ボランティア連絡協議会が主催する研修会において、ひきこもりに関する現状や支援をテーマとした一般公開講座の開催を支援した。

○主 催:山口市介護者の会、山口市ボランティア連絡協議会

○目 的:ひきこもりについての正しい理解と普及啓発に努める。

○開催日:山口市介護者の会 12月9日(木)

山口市ボランティア連絡協議会 令和4年2月14日(月)

### 《成果と課題》

今年度の一般公開講座は、支えてネットワークの辞退を受けて、山口市介護者の会と山口市ボランティア連絡協議会の研修会において「ひきこもりの現状や支援」をテーマとして開催した。

講演の中で、ひきこもりからの回復には時間がかかることやエネルギーが必要なこと、家族を主とする周囲の適切なサポートや働きかけが必要といった話があった。「これからどのような行動をしたらよいかを整理できた」等の意見があり、現状を整理し今度の行動に結びつける機会になった。

## 2) 山口市災害ボランティア研修会の開催

- 目的: 地域における防災意識の向上と新しい行動様式を踏まえた災害ボランティアの養成
- 開催日: 令和4年1月17日(月)
- 会場: 国際ホテル山口(ZOOM ミーティングを使用したオンライン参加と併用)
- 対象: 災害ボランティア登録者、災害時支援協定締結団体、地区社協  
民生委員・児童委員、福祉員、一般住民等
- 演題: 「ICT 活用事例～災害ボランティアのココが変わる！」  
講師: サイボウズ株式会社 社長室 災害支援チームリーダー 柴田 哲史 氏
- 参加者: 52名(会場参加: 15名 オンライン参加37名)

### 《成果と課題》

本研修会は、「防災とボランティア週間」の事業として開催し、山口市の災害ボランティア登録者及び登録団体、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉員等広く呼びかけて行った。

今回は、オンラインと会場で参加するハイブリッド形式で初めて開催した。サイボウズ災害支援チームリーダー柴田氏を講師にコロナ禍において、ITCの活用により災害ボランティアセンターの運営がどのように変わるか御講話いただいた。

災害に対する関心が高まっている今、今後も市民の一人一人が災害を自分のこととして捉えられるような内容を検討し、開催していきたい。

## (12) 福祉教育の推進

### 1) 福祉教育事業の企画・実施

#### ○小・中学生等の福祉体験学習への協力及び体験用具の貸出

- ・車いす、高齢者擬似体験、点字、ガイドヘルプ、手話等
- ・1学期は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度同様市社協職員の派遣及びゲストティーチャーの調整は行わなかった。感染拡大状況を見据えて学校教育課との協議のうえ、2学期から職員派遣及びゲストティーチャーの調整も再開した。また、ユニバーサルデザインの啓発用(福祉教育)DVDの作成も行った。
  - ・小学校…59校   ・中学校…1校   ・その他…10件
- ・体験用具等貸出
  - 車椅子…35件            高齢者擬似体験…14件            点字盤…10件
  - 白杖…12件            ユニバーサルデザイングッズ…6件

### 2) 福祉体験学習研修会の開催

- 地区福祉員協議会等で依頼があった際に福祉体験学習を実施した。(地区: 宮野)

### 3) 福祉教育推進協力校の指定

#### \* 受託事業

- 目的: 次代を担う小・中学生を対象として、福祉の心を育て社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、助け合い、社会連帯の精神を育成するとともに児童・生徒を通じて家庭や地域で福祉の心を育める総合的教育の啓発、体験、実践、研究を行うことを目的として福祉教育推進協力校の指定を年次的に推進する。

- 協力校数: 小学校6校(令和2・3年度指定校 宮野小学校・陶小学校・徳佐小学校)  
(令和3・4年度指定校 上郷小学校・串小学校・柚野木小学校)  
中学校2校 (令和2・3年度指定校 二島中学校)  
(令和3・4年度指定校 鴻南中学校)  
高等学校1校(令和2・3年度指定校 防府高等学校佐波分校)

○指定期間: 2年

○協力校の活動: それぞれの地域の実情に合わせ、地域住民、ボランティア、社会福祉協議会の協力を得て、下記の活動を実施

- (1) 福祉体験学習
- (2) 福祉講演会、映画会、展示会等による福祉意識の啓発
- (3) 社会福祉、地域の福祉課題についての調査研究活動
- (4) 地域社会で生活している高齢者、障がい者などに対する実践活動や地域内の社会福祉関係・団体等の交流会
- (5) 社会福祉施設等への訪問、体験活動及びボランティア活動
- (6) 社会福祉関係行事等への参加
- (7) 福祉関係紙、学区新聞等の配布、広報活動
- (8) 家庭、地域社会への啓発活動
- (9) 災害時における地域の福祉課題を学ぶ活動
- (10) 福祉に関する制度・サービスについて学ぶ学習活動
- (11) その他目標達成のために必要な活動

- 市社協の役割 (1) 福祉体験の助言及び指導  
(2) 活動に関する相談、情報提供、活動の場コーディネート  
(3) 助成金の交付

○助成基準 1年につき3万円(上限)

#### **宮野小学校**

- 事業内容
1. 車いす体験、高齢者疑似体験、障害者スポーツ体験(ボッチャ用品)
  2. 調査研究活動(宮野のバリアフリーについて考えよう)
  3. 収集活動(ペットボトルキャップ、ベルマーク)  
募金活動(歳末たすけい募金)

#### **陶小学校**

- 事業内容
1. 視覚障がい体験(4年生)
  2. 「みんなが過ごしやすい町へ」(5年生)  
点字について学習し、視覚障がいのある方の困り感についての理解を深めた。
  3. 「みんなに優しいニューワールド」(4年生)  
視覚障がいのある方に優しい世界を考えるために、身の回りにある設備を調べた。
  4. 学校だより及び学年だよりを通じた情報発信

#### **徳佐小学校**

- 事業内容
1. 手話体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験(3・4年生)
  2. ボランティアグループ「たんぼぼ会」との交流 (高齢者施設へのプレゼントづくり)
  3. 小中合同環境整備(徳佐八幡宮の清掃活動)
  4. 学校だよりの発行(毎月)、コミスクだよりの発行(年3回)

#### **上郷小学校**

- 事業内容
1. 車椅子体験、点字体験
  2. 視覚障害者の方のお話会
  3. 福祉に関する本の購入

#### **串小学校**

- 事業内容
1. 高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験、点字体験
  2. まちの施設見学「身近なバリアフリーをさがそう」
  3. 感謝の会 地域の高齢者との交流会
  4. お手軽講座「地域共生社会について」
  5. 独居高齢者に対する愛のハガキ見舞い

#### **柚野木小学校**

- 事業内容
1. 車いす体験学習、点字の学習
  2. 介助犬や聴導犬についての講演会
  3. 学校行事での交流会(運動会や学習発表会など)
  4. 地域活性化センターへ訪問し、児童が作った100歳体操などを行い、一緒に活動する。
  5. 社会福祉関係行事等への参加を予定していたが、コロナ禍のため中止

#### **二島中学校**

- 事業内容
1. 高齢者疑似体験(2年家庭科)  
コロナが収束しないため、講師派遣による疑似体験学習は断念。  
⇒代替えとして、手作り疑似メガネや使い捨て手袋で、疑似体験を行った。
  2. 秋穂二島地区「あそぼう家」との連携(3年家庭科)  
①「思春期子育て講座」 ②①後に母親へのインタビューや制作したおもちゃのプレゼント
  3. 秋穂二島地区社会福祉協議会との連携によるひとり暮らし高齢者宅の友愛訪問(コロナのため中止)  
⇒代替えとして、メッセージカードを送り、交流を図った。
  4. 秋穂二島地区敬老会の手伝い コロナのため中止
  5. 学校だよりで、「思春期子育て講座」について紹介
  6. 福祉(手話・発達障害)に関する書籍を購入し、特別支援学級にて活用

#### **鴻南中学校**

- 事業内容
1. ユニバーサルデザイン製品の購入と授業(1年生)
  2. 学年だよりや学級通信を通して福祉学習を紹介
  3. 書籍購入
  4. あいさつ運動

#### **防府高等学校佐波分校**

- 事業内容
1. 手話体験学習、点字体験学習、ライフデザインセミナー(妊婦体験・おむつ交換体験・乳児とのふれあい体験)
  2. 障害者福祉研修会(視覚障害者の理解～視覚障害者講演・特別支援学校生との遠隔通信で交流)

#### **4) 福祉教育推進協力校の情報交換会の開催**

**\* 受託事業**

平成22年度・23年度指定福祉教育推進協力校(平川小学校、鑄銭司小学校、阿東中学校)と

平成23年度・24年度指定福祉教育推進協力校(大殿小学校、白石小学校、潟上中学校)、  
平成24年度・25年度指定福祉教育推進協力校(小鯖小学校、小郡小学校、阿東東中学校)、  
平成25年度・26年度指定福祉教育推進協力校(島地小学校、さくら小学校、川西中学校、仁保中学校)、  
平成26・27年度指定福祉教育推進協力校(佐山小学校、八坂小学校、宮野中学校、徳地中学校)、  
平成27・28年度指定福祉教育推進協力校(大内小学校・興進小学校・小郡南小学校、湯田中学校)、  
平成28・29年度指定福祉教育推進協力校(名田島小学校・中央小学校・白石中学校・小郡中学校)、  
平成29・30年度指定福祉教育推進協力校(湯田小学校、二島小学校、大殿中学校、大内中学校)、  
平成30・31年度指定福祉教育推進協力校(大内南小学校、秋穂小学校、平川中学校、秋穂中学校)  
令和元年・2年度指定福祉教育推進協力校(良城小学校、仁保小学校、生雲小学校、阿知須中学校)  
令和2・3年度指定福祉教育推進協力校(宮野小学校・陶小学校・徳佐小学校・二島中学校)  
令和3・4年度指定福祉教育推進協力校(柚野木小学校・串小学校・上郷小学校・鴻南中学校)  
の計45校を対象に紙面上での情報交換を行った。

## 《成果と課題》

新型コロナウイルス感染拡大防止のため集まることはせずに、各学校に福祉教育の取り組みに関するアンケートを送付し、その回答を各学校に返し、情報交換を行った。コロナ禍の福祉教育の取り組みや対応策などがわかり、その情報を各学校に提供することができた。紙面だけでは詳しい内容がわからないところが出てくるため、今後は対面若しくはオンラインで実施するか等コロナ禍でどのように情報交換会の場を提供していくか検討していく。

また、来年度ですべての公立小・中学校への指定をすることとなる。今後の指定方法等検討していく必要がある。

## (13) 企業の社会貢献活動の推進

### 1) 企業の社会貢献活動の支援

○企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦。

「株式会社レノファ山口」を防府市社会福祉協議会と連名で山口県社会福祉協議会に推薦した。

### 2) 企業等社会貢献活動セミナーの開催

○主催：山口県、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、公益財団法人山口きらめき財団

○共催：山口市社会福祉協議会、やまぐち県民活動支援センター、山口市、防府市、社会福祉法人長門市社会福祉協議会、社会福祉法人防府市社会福祉協議会、防府市市民活動支援センター、社会福祉法人萩市社会福祉協議会、周南ふるさと振興財団、岩国市市民活動支援センター

○目的：県内企業の具体的事例を参考にし、県内における企業等の社会貢献活動の更なる充実と発展を促進する。

○開催日：11月18日(木)

○会場：山口県社会福社会館 4階

○参加対象：社会貢献活動モデル事業所他

○内容：【モデル事業所指定企業の公表及び活動報告】

＜令和4年度指定の事業所＞

・大村印刷株式会社

・株式会社コープ葬祭

- ・株式会社ダイナム山口長門店
- ・中国電力株式会社下関発電所
- ・中村被服株式会社
- ・萩市田町商店街振興組合連合会
- ・株式会社レノファ山口

### 3 見守り訪問活動及び災害時等の地域支えあい活動の仕組みづくりの推進

#### (1) 小地区見守り訪問活動の推進 \* 受託事業

○事業内容:ひとり暮らし高齢者等の安否確認のため、自治会(町内)または民生委員・児童委員担当地区ごとに見守り訪問グループを結成し、要援護者を地域で見守るという主旨で友愛訪問活動を実施する。

地区名	見守り訪問対象者数	グループ数	地区名	見守り訪問対象者数	グループ数
大 殿	211	38	鑄銭司	112	18
白 石	262	54	名田島	33	20
湯 田	548	23	秋穂二島	58	58
仁 保	92	9	嘉 川	95	30
小 鯖	102	22	佐 山	88	88
大 内	664	40	小 郡	258	47
宮 野	268	183	秋 穂	65	21
吉 敷	106	21	阿知須	105	16
平 川	306	34	徳 地	124	46
大 歳	402	28	阿 東	156	5
陶	64	15	合計	4,119	816

#### 《成果と課題》

山口市の高齢化率は高まっているが、ひとり暮らしの高齢者や高齢の二人暮らし世帯の対象者は増えていない現状がある。しかし、高齢者を対象とした安否確認を中心とする友愛訪問は、悪質な業者等にだまされることを未然に防ぐことや、認知症等で孤立させないためにも地域で関わるが大変重要になってきている。

また、活動する際の知識として、各地区で研修会を実施し、高齢者の異変に気づくための情報共有も見守り活動の一環となっている。市内において要援護者をグループで支援するこの活動も徐々に浸透し、グループでの見守り活動の方法が重要になっているが、若い人の支援が少ないこと、依頼できる支援者がいないところや支援者自身も高齢である等グループ全体について対策を検討する必要がある。

なお、見守りの方法や地域での役割についてわかりやすくするため、「小地区見守り訪問活動について」のDVDを作製し、その他の見守りのDVDとともに参考になる資料として、研修会等で活用した。

地区名	日 時	主な内容	参加者
大 殿	12月2日(木) 10時～12時	・小地区見守り訪問活動の現状と課題 ・グループワーク「事例検討」	43
白 石	7月16日(金) ①10時～12時 ②13時30分～15時45分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明 ・グループ一覧表の説明 ・グループワーク「事例検討」	50

地区名	日 時	主な内容	参加者
湯 田	6月3日(木) ①10時～12時 ②13時30分～15時30分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD 視聴) ・生活支援コーディネーターについて	46
仁 保	7月17日(土)19時～20時30分 8月17日(火) 〃 9月11日(金) 〃 10月 9日(土)10時～11時30分 11月27日(土)19時～20時30分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	57
小 鯖	7月9日(金) 10時～12時	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」	57
大 内	11月27日(土) 10時～12時	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	96
宮 野	4月15日(木) ①10時～12時 ②13時30分～15時30分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD 視聴) ・災害時要援護者避難支援プラン等について ・対象者の把握(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	77
吉 敷	11月5日(金) ①9時45分～12時 ②13時30分～15時45分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」	77
平 川	7月3日(土) ①10時～11時20分 ②13時30分～14時50分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「地域支え合いマップ」と「そのま とめ」の更新及び情報交換	85
	12月4日(土) ①10時～11時40分 ②13時30分～15時10分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・事例発表「事例から考える見守り訪問の連携」 ・グループワーク「地域支え合いマップ」と「そのま とめ」の更新及び情報交換	75
大 歳	7月5日(月) ①18時30分～ ②19時45分～ 7月6日(火) ③19時～	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD 視聴) ・グループワーク(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	78
陶	6月23日(水) 13時30分～15時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD 視聴) ・見守り訪問活動における民生児童委員と福祉員の連携について(宮野地区における訪問活動への取り組みの事例発表) ・グループワーク(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	26
鑄銭司	7月31日(土) 10時～12時	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「地域支え合いマップ」の更新及び情報交換	34

地区名	日 時	主な内容	参加者
名田島	8月4日(水) 19時～21時	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	77
秋穂二島	7月30日(金) 13時30分～15時30分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・グループワーク「地域支え合いマップ」の更新及び情報交換	41
嘉川	6月23日(水) 10時～12時30分	・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・事例発表「見守り訪問活動の連携について」 ・グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」見守り対象者の確認、グループ員一覧表作成	60
佐山	11月20日(土) 13時30分～14時30分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・グループワーク「災害時等地域支え合いマップ更新作業」	50
小郡	①7月28日(水) 13時30分～15時 ②8月2日(月) 13時30分～15時 ③8月11日(水) 13時30分～15時	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・『山口市災害時要配慮者避難支援全体計画』概要説明 ・「お互いに支え合う地域づくりを目指して」	162
秋穂	令和4年1月17日(月) ①9時30分～11時20分 ②13時30分～15時20分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・グループワーク「地域支え合いマップ」の更新及び情報交換	54
串	11月19日(金) 9時30分～12時10分	・友愛訪問活動(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) ・講座「うそ電話詐欺にあわないために」 ・グループワーク情報交換(見守り対象者の確認)	36

### 《成果と課題》

見守り訪問グループ員研修会は、研修メニューの中から地区社協の選択により実施された。市内19地区社協で開催され、本会職員も同席して研修会の企画、運営の支援を行った。見守り訪問活動につながる活動として、高齢者のサロンや百歳体操などの集いの場やふれあい型給食などの活動が見守りにつながることを改めて、周知した。

また、悪質業者の訪問販売などによる被害の防止方法を周知することなど見守り訪問活動の重要な役割を担う内容の研修会を今後実施していくことが重要である。

## (2) ふれあい型給食サービス事業の推進

\* 受託事業

### 1) ふれあい型給食サービス事業の実施

○事業内容:概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、75歳以上の高齢者のみの世帯、単身の障がい者世帯

で給食を必要とし、かつ地域との交流が必要な方に月1回、見守り活動を兼ねて地域のボランティアがお弁当を届ける。

○利用人員 1,068名

○延利用人員 9,839名

○実施地区:14地区

○実施頻度:月1回(昼食または夕食)

地区	実施回数	利用対象者	対象人員	延利用者数 (R3.4~R4.3)	調理会場
大殿	月1回(夕食) 第1水曜日	・77歳以上のひとり暮らし高齢者等	35名	283名	宅配クック123
白石	月1回(夕食) 第2火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	199名	1,965名	いちやなぎ
湯田	月1回(夕食) 第2水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・60歳以上の単身の身体障害者	124名	1,267名	湯田地域交流センター
大内	月1回(昼食) 第2・第3木曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者	116名	1,240名	大内地域交流センター
宮野	月1回(昼食) 第1木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・身体障害者等	117名	1,239名	ふしの学園
吉敷	月1回(夕食) 第3木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	88名	214名	吉敷地域交流センター
平川	月1回(夕食) 第2火・水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	69名	687名	山口あかり園
陶	月1回(昼食) 第2水曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者もしくは夫婦が高齢者同士	51名	480名	日吉台温泉ホーム
鑄銭司	月1回(昼食) 第4火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	36名	400名	JA平川総菜センター 聖和苑
名田島	月1回(夕食) 第3火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者 ・78歳以上の高齢者のみの世帯	30名	328名	JA平川総菜センター (12月は名田島地域交流センターで調理)
秋穂二島	月1回(昼食) 第1火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・75歳以上の高齢者のみの世帯	33名	350名	山口秋穂園
嘉川	月1回(夕食) 第3水曜日	・75歳以上のひとり暮らし高齢者 ・80歳以上の高齢者夫婦	92名	803名	日吉台温泉ホーム
佐山	月1回(昼食) 第4水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	43名	352名	佐山地域交流センター
阿東	月1回(夕食) 第3水曜日	・概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者のみの世帯 心身の障害により給食を必要とする	35名	231名	山口市阿東老人福祉センター

## 2) 給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会の開催

\* 受託事業

○事業内容:ふれあい型給食サービス事業の食中毒予防対策として、本会の主催による給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を開催する。

開催日	5月18日(火)
会場	山口県総合保健会館

参加者数	47名
------	-----

### 3) ふれあい型給食サービス事業実施地区交流会の開催

\* 受託事業

○事業内容: ふれあい型給食サービス事業の実施地区を対象とした交流会を2年に1回開催する。  
次年度開催年は令和4年度である。

#### 《成果と課題》

本事業の実施により、見守り活動の一環として利用対象者の安否確認をすることができる。また、配食をきっかけに地域交流を促進し、地域のつながりを形成できる。

令和3年度も各地区が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を考慮しながら事業を実施した。また、給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を5月に開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により配食の期間が空き、配食を利用者が忘れてしまい、弁当を渡せないという課題が生じている。

昨年度に引き続き、調理会場が使用できない、配食の際に対面することが難しいといった課題もあるが、弁当を業者に委託したり、感染対策をしたり、各地区で工夫をされている。感染症の収束が見込めないため、感染拡大の状況に応じた安全第一の事業を実施したい。

### (3) 災害時等地域支え合いマップの作成

\* 受託事業

○事業概要: 災害時等地域支え合いマップは、住宅地図上に高齢者や障がい者などいわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、医療機関などの地域の資源や危険箇所などの情報を記載することにより、日常的な要援護者の安否確認及び避難や支援を迅速に行うための手段として活用するもので、この作成事業を通じて地域福祉の推進を図る。

○目的 (1)災害時の要援護者の安否確認や避難支援

(2)日常生活における地域での支え合い

(3)地域と山口市地域包括支援センター、山口市社会福祉協議会との連携による緊急時の対応

○更新地区 湯田・仁保・小鯖・大内・宮野・陶・名田島・佐山地区

地区名	災害時等地域支え合いマップ(更新)作業日
湯田	6月16日(水)
仁保	7月17日(土)
	8月7日(土)
	9月11日(土)
	10月9日(土)
	11月27日(土)
小鯖	7月28日(水)
大内	11月27日(土)
宮野	8月1日(日)
陶	7月17日(土)
名田島	8月4日(水)
佐山	11月20日(土)

## 《成果と課題》

地図を作成することで、地域内の災害時要援護者の把握ができ、地域の防災意識の向上に役立っている。

しかし、本事業は今年度で終了となり、来年度からは市が主導する避難マイプラン作成へと移行することとなった。地図を作成することによる情報共有のしやすさや視覚的の分かりやすさもあるため、今後見守り研修会などで地図を活用した研修会を実施したいといった声も地域から出ているため、どのように対応していくか検討していく必要がある。

## 4 地域子育て支援機能の充実

### (1) 児童福祉事業の推進

#### 1) 山口市山口児童館の運営 \* 指定管理事業

事業	名称	内容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
自由 来館	施設開放	遊戯室、児童遊園を開放し、子どもの遊び等の活動場所とともに、保護者の交流場所とする。	通年 開館日263日 ※臨時休館30日 (コロナによる)	乳幼児 その他 16,173名	新型コロナによる休館。 備品の老朽化が激しく、計画的な入れ替えが必要。
	HAPPY スペース	2階図書室を小・中学生に自習室として開放	9:00~16:00	小・中学生 370名	特に中学生の利用が多く、静かな環境で集中して学習に取り組む様子があった。
	プール開放	夏休みに児童遊園のプールを開放し、水遊びの場所とする。	7月 21・28・29・30日 8月 4・5・6・11日 計8回	幼児・児童 124名 保護者57名 計181名	職員による監視。 怪我や事故なく実施。
連続 講座	やんちゃクラブ	親子の遊びや活動を通じた居場所づくり、仲間づくり。(子育て相談を含む)	毎週木曜日 10:00~11:00 24回/31回	生後6ヶ月 未就園児 15組	通年の活動を行うことができた。 低年齢化により内容の考慮が必要。
	がらくたらんど	工作や絵画活動、集団遊びを通じた人間関係づくり。(子育て相談を含む)	月2回水曜日 15:45~16:45 19回/23回	小1~小3 25名	通年の活動を行うことができた。 個別に配慮が必要な子が増え、定員や職員の数、内容の考慮が必要。
単独 講座	ぷれい☆メイト	大学生との工作や、レクリエーション活動。	月1回土曜日 (4月~7月)	3歳~小6 55名	大学生と工作やレクリエーション・自由な

事業	名 称	内 容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
単独講座			13:30～15:30 (4回実施)	保護者 23名 大学 48名 計 126名	遊びを通して交流を行った。
	ももたろうクラブ	活動を通して子どもから高齢者まで多世代の交流を行う。	年1回不定期	3歳～小6 12名 保護者4名 計 16名	しめ縄作りを通して多世代の交流を行った。
	ひよっこり講座	様々な制作や遊びの体験活動。 作物の苗植えや収穫。	不定期 (5回実施)	幼児5名  88名	少し難易度の高い工作を実施。 畑に玉ねぎやさつま芋の苗を植えたり収穫を楽しんだ。
	特別講座	専門講師による講座	不定期 (3回実施)	内容から設定  45名	萩焼体験・ハーバリウム等、専門講師による様々な体験を行った。
	おはなしライブラリー	読み聞かせ、ペープサート、人形劇、エピソードシアター等	年10回不定期 (6回実施)	幼児・児童・保護者  88名	児童館職員やおはなしボランティアによる紙芝居、パネルシアターを実施。
	移動児童館	制作やレクリエーション	不定期	内容から設定	未実施
行事	ゲームラリー	施設内での様々なゲーム活動。	9月第4土曜日 午後	3歳～小6	未実施
	運動会	大学生企画による運動会。	10月第4土曜日 午後	3歳～小6	未実施
	秋祭り	各種ゲーム、飲食コーナーでの体験活動。	11月第3土曜日 午後	3歳～小6 30名	大学生の協力を得ながらお店やゲームの充実を図った。
	クリスマス会	音楽や劇の鑑賞、ゲームなど。	12月第2土曜日 午後	3歳～小6 30名	大学生による出し物や劇などとても好評だった。

#### 感染症対策

- ・職員・利用者のマスク着用
- ・館内手すり・ドアノブ・遊具・玩具の消毒
- ・講師・学生ボランティアは健康チェックに関するアンケートを記入
- ・入館時の検温・手洗い・手指消毒
- ・利用者を分散し各部屋を開放・換気
- ・一般利用者は登録書を記入

#### 《成果と課題》

○昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら運営を進めたが、陽性者の報告や変異株

の影響により6月・8月・9月は休館した。

○連続講座は、2部制や個別対応など少人数にし、回数を増やして活動を行うことができた。未実施の行事については、次年度状況を踏まえながら行う方向で考えている。

○12月に行ったしめ縄づくりは幼児から高齢者までの参加があり、多世代交流の場となった。

○自由来館者の中には、初めて利用する親子も多く、児童館職員は親子の状況に応じて声掛けや見守りを行った。これは、保護者が抱えている些細な困りごとを聞いたり、情報提供などの子育て支援としての役割をもつため、職員研修やスキル向上が必要である。

○令和3年度4月1日よりNPO法人あつとの運営する『あつと児童クラブ』が施設内に入り、月1回のミーティングや日々の情報共有を行った。児童クラブ児童の利用に伴い、建物・物品の破損・幼児や一般児童の利用人数への影響は少なからずあり、今後も職員の連携・危機管理等を行いながら双方がよりよく利用できる方法を考えていく必要がある。

○建物の老朽化や駐車場スペースの問題等は改善が難しい。

**2) 秋穂コミュニティセンターの運営** \* 指定管理事業

○事業内容：山口市から委託を受けた山口市秋穂コミュニティセンターの適正な管理運営を行い、センターとして地域住民と密接な連携を保ちながら、児童の健全育成に努める。

月	主な行事		定例会・その他
4	～3(土)	お花見週間	囲碁将棋定例会 8回 38名
	3(土)	にこにこ桜まつり 中止	ひまわり会(自彊術) 4回 44名
	5(月)	高齢者疑似体験(学童) 31名	おはなし会 4名
	7(水)	避難訓練(不審者) 37名 (講師:少年安全サポーター)	秋穂児童にこにこ学級入級式 24名
	17(土)	みて!さがして!串山ハイキング 延期	
5	8(土)	フラワーアレンジメント教室 10名 (講師:井上晶子先生)	囲碁将棋定例会 8回 33名 ひまわり会(自彊術) 2回 23名
	24(月)・25(火)	出前児童館 延べ38名 (秋穂地区児童クラブ)	おはなし会 中止
	25(火)	にっこり花壇苗植え 19名	
6	12(土)	ビーズ教室① 中止	囲碁将棋定例会 9回 32名
	26(土)	にこにこキッズ(製作) 5名	ひまわり会(自彊術) 中止 おはなし会 中止 おひさま会 27名・児童デイサービス 20名
7	3(土)	たなばた会 29名	囲碁将棋定例会 8回 38名
	10(土)	にこにこキッズ (音楽あそび) 6名	ひまわり会(自彊術) 4回 42名 おはなし会 中止
	30(金)	夏休み工作教室 21名	秋穂児童にこにこ学級保護者会 25名

月	主な行事		定例会・その他	
8	3(火)	環境学習講座 (講師: 曾我邦雄先生)	36名	囲碁将棋定例会 7回 22名 ひまわり会(自彊術) 中止
	16(月)	出前児童館 (大海なかよし学級)	11名	おはなし会 中止 秋穂児童にこにこ学級臨時保護者会 20名
	21(土)	にこにこキッズ(製作)	5名	
	24(火)	第1回にこにこコンサート	36名	
	26~9/26	児童館閉館		
9	4(土)	にこにこキッズ (体育あそび)	中止	囲碁将棋定例会 1回 2名 ひまわり会(自彊術) 中止
	26(日)	第93回囲碁大会	中止	おはなし会 中止
	27(月)	消防総合訓練	22名	
10	26(火)	にっこり花壇苗植え	6名	囲碁将棋定例会 4回 38名
	30(土)	にこにこキッズ (ハイキング)	7名	ひまわり会(自彊術) 8回 29名 おはなし会 2名
11	6(土)	ビーズ教室② (講師: 横尾浩子先生)	12名	囲碁将棋定例会 7回 22名 ひまわり会(自彊術) 4回 43名
	27(土)	みて! さがして! 串山ハイキング (秋穂交流センター共催)	12名	おはなし会 8名 秋穂保育園おひさまクラブ 19名 児童クラブ入級説明会 48名
12	11(土)	にこにこキッズ (ハイキング)	7名	囲碁将棋定例会 8回 24名 ひまわり会(自彊術) 4回 38名
	18(土)	工作教室② 「ミニ門松づくり」 (講師: 伝承グループ)	26名	おはなし会 2名
令和 4年 1	7(金)	子どもの居場所づくり活動		囲碁将棋定例会 8回 26名
	30(日)	第91回新春囲碁大会	中止	ひまわり会(自彊術) 4回 33名 おはなし会 中止 秋穂コミュニティセンター・秋穂放課後児童クラブ 運営委員会 12名
2	26(土)	舞台芸術公演巡回事業 (劇団演劇街)	中止	囲碁将棋定例会 7回 24名 ひまわり会(自彊術) 4回 42名 おはなし会 中止

月	主な行事		定例会・その他
3	9日(水)	消防総合訓練 29名	囲碁将棋定例会 8回 28名 ひまわり会(自彊術) 5回 51名 おはなし会 2名 団体利用(保育園) 110名 児童デイサービス 19名 秋穂児童にこにこ学級保護者説明会 27名

### ○その他の事業

- ・ 図書の貸し出し ・花壇コンクール参加(R3 年優秀賞) ・防災啓発活動(防災教室、避難訓練月 1 回)

### 【成果と課題】

- ・ 児童館新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿い、リスク評価をふまえた上で、市・地域・本所との連携を取りながら、運営方法を判断していった。(例: 休館・館内利用人数・飲食禁止・使用おもちゃの制限など)
- ・ 秋穂地区児童クラブでの出前児童館は、初めての遊びに子ども達が触れる機会が出来たので良かった。2年目になる防災教室では、子どもたちの防災意識が高くなっていたので、今後も継続的な実施を考えている。
- ・ 今年度から実施した「にこにこキッズ」は、認知度が低いので、地域の子どもたちに広まるよう広報活動をしていきたい。また、児童クラブ以外の子どもたちが利用しやすいような行事を企画し、誰もが安心して自由に来館出来る開かれた児童館を目指していきたい。

### 3) 放課後児童クラブの運営

\* 受託事業

#### ① 小郡児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○ 事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・ 放課後児童クラブ事業の円滑な運営(常勤支援員 29 名 + 非常勤支援員 30 名)

(夏期休業期間に非常勤支援員 11 名、シルバー人材センター 8 名増員)

登録学童 290名(5学級)

開設日数	ひまわり学級	291日開設(土曜日50日)	登録学童	60名 (3月末42名)
開設日数	ひまわり第2学級	291日開設(土曜日50日)	登録学童	60名 (3月末52名)
開設日数	ひまわり第3学級	291日開設(土曜日50日)	登録学童	60名 (3月末44名)
開設日数	はちのこ学級	290日開設(土曜日49日)	登録学童	60名 (3月末55名)
開設日数	はちのこ第2学級	291日開設(土曜日50日)	登録学童	50名 (3月末48名)

### 各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1 6	木 火	・ 保育開始 ・ 小郡小学校挨拶(はちのこ・はちのこ第2学級) ・ 上郷小学校挨拶(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)
6	25	金	・ 上郷小学校との連絡会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)

7	1	木	・小郡小学校との連絡会(はちのこ・はちのこ第2学級)
11	21	日	・令和4年度小郡小・上郷小学校区放課後児童クラブ入級説明会
令和4年 3	31	木	・学級別保護者説明会(はちのこ・はちのこ第2学級) ・学級別保護者説明会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者説明会中止 ・保育終了

#### 【職員の研修関係】

- 6月10日(木) 放課後児童健全育成関係職員等初任者研修会  
6月27日(日)・7月11日(日) 放課後児童支援員認定資格研修  
9月4日(土)・25日(土)、10月6日(水)・20日(水) 山口県子育て支援員研修  
9月21日(火) 第1回児童クラブ代表者会議  
11月11日(木) 放課後児童健全育成関係職員等資質向上研修会  
12月9日(木) 山口県内児童館館長・児童厚生員等研修会  
令和4年2月1日(火) 第2回放課後児童クラブ代表者会議  
2月14日(月)・18日(金) 放課後児童健全育成関係職員等中堅者研修会  
その他研修会(南部支所衛生委員会・社協職員研修)

#### 《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めている。今年度も上郷小学校区は待機児童解消となったが、小郡小学校区は通年の待機児童が多く、長期休業期間のみの利用希望もあり、令和4年度以降も関係機関と連携し対応策を検討する必要がある。また、今後もコロナウイルス対策を徹底し、児童の安全・安心を見守っていく。

#### ②秋穂児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・児童クラブ事業の円滑な運営(児童厚生員2名+支援員9名+補助員3名)

開設日数 秋穂児童にこにこ学級 293日開設(土曜日50日) 登録学童 44名(3月末32名)

開設日数 大海なかよし学級 281日開設(土曜日36日) 登録学童 27名(3月末26名)

#### 各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1	木	・保育開始(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	9	金	・入級式(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	7~14	水	・壁面作成(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	21	水	・お楽しみおやつ
5	3~7	月~金	・壁面作成(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	12	水	・畑作り、サツマイモの苗植え(秋穂児童にこにこ学級)
	17	月	・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	24,25	月、火	・リトミック(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)

月	日	曜日	事業内容
6	7~11 16 21	月~金 水 月	・壁面作成 ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級) ・遠足(大海なかよし学級)
7	9 12~16 28 28 30	金 月~金 水 水 金	・夏季休業前保護者会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・壁面作成(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・SDGs出前講座(大海なかよし学級) ・社協協賛共同募金箱制作(秋穂児童にこにこ学級) ・工作教室(秋穂児童にこにこ学級)
8	2, 10 11,25 4, 5 20 25 31	月、火 水 水、木 金 水 火	・シャボン玉、水遊び(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・スタンプ、プラパン、けん玉制作(大海なかよし学級) ・ヤクルト出前講座(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・夏祭り(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・博物館出前講座(秋穂児童にこにこ学級) ・夏休みの様子保護者向け上映会(秋穂児童にこにこ学級)
9	6~10 15 27	月~金 水 月	・壁面作成 ・フラワーアレンジメント(秋穂児童にこにこ学級) ・山口ゆめ回廊博覧会プロジェクト参加(秋穂児童にこにこ学級) ・お楽しみおやつ
10	1~13 14,29	金~水 木、金	・ハロウィン衣装作り ・ハロウィンパーティー ・お楽しみおやつ
11	5, 13 10 19 15~ 24	金、土 水 金 月 水	・芋ほり(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・壁面制作(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・児童クラブ合同利用説明会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・クリスマス会練習開始(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お楽しみおやつ
12	1 24 28	水 金 火	・クリスマスオーナメント作り(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・クリスマス会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お楽しみおやつ ・大掃除
R4年1 月	4 7 14	火 金 金	・絵馬作成(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・七草を食べる会参加(秋穂児童にこにこ学級) ・運営委員会開催 ・お楽しみおやつ
2	1, 2 9	火、水 水	・節分行事 ・壁面制作 ・お楽しみおやつ

3	10, 11	木、金	・新年度保護者会
	25, 31	金、木	・お別れ会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お楽しみおやつ

【職員の研修関係】

- ・山口市児童クラブ支援員全体研修会
- ・山口市南部ブロック研修会
- ・新人支援員研修会
- ・放課後児童支援員認定資格研修会
- ・児童館長、児童厚生員等研修会
- ・放課後児童健全育成関係職員等中堅者職員研修会

《成果と課題》

放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めている。共働き世帯、核家族世帯、1人親世帯など、本事業の利用を希望される世帯が増えている。

開所時間延長事業の利用者が多く、登録児童の4割弱が利用している。

コロナ感染予防のためのマスク着用、飲食時は話をしないなどの新しい生活様式は子ども達の中では当たり前になり、ずっと続けてきた手洗い、うがいは以前より丁寧に行うようになった。

学童内における行事等は、子ども達が何に興味があるのかりサーチし少しでも子ども達が楽しめるような内容のものを考え実践した。

その結果、子ども達も新しいことに取り組んだ喜びと、達成感を味わうことができ、次は何をしたいのか伝えてくるようになった。常に向上心を持ち続け、現状に満足しないように心掛けたい。

③阿知須児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・児童クラブ事業の円滑な運営: 支援員(嘱託)3名+支援員・補助員31名

(学年始め休業期間に補助員6名増員)

登録学童 183名(3学級合計)

開設日数 おひさまクラブ1 279日開設(土曜日46日) 登録学童 55名(3月末53名)長期保育1名

開設日数 おひさまクラブ2 279日開設(土曜日46日) 登録学童 67名(3月末68名)長期保育0名

開設日数 井関にこにこクラブ 290日開設(土曜日49日) 登録学童 61名(3月末61名)

各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1	木	・保育開始
7	27	火	・避難訓練(おひさま1)
8	3	火	・フラワーアレンジメント教室(おひさま2)
	4	水	・レクレーション教室(井関にこにこ)
	4	水	・「おはなしきらきら」本の読み聞かせ(おひさま1・2)
	5	木	・水でつぼうあそび・避難訓練(おひさま2)
	6	金	・水でつぼうあそび(おひさま1)
	6	金	・お店屋さん(おひさま1・2)
	10	火	・「おはなしきらきら」本の読み聞かせ(井関にこにこ)

月	日	曜日	事業内容
8	11	水	・警察防犯教室(井関にこにこ)
	11	水	・かき氷(おひさま1・2)
	20	金	・エコ講座(井関にこにこ)
	20	金	・昔の遊び(おひさま1)
	24	火	・フラワーアレンジメント教室(おひさま1)
	26	木	・かき氷(おひさま1・2)
	27	金	・昔の遊び(おひさま2)
	28	土	・ミニ発表会(井関にこにこ)
	31	火	・お楽しみ会(おひさま1・2 井関にこにこ)
10	23	土	・山口県教育会事例発表会(井関にこにこ)
11	2	火	・山口県けん玉(もしかめ)大会(井関にこにこ)
12	21	火	・クリスマス会(おひさま1・2)
	27	月	・5年生カレー作りの日(井関にこにこ)
3	11	金	・おひさまクラブ新年度説明会(新入児のみ)
	25	金	・ほっともっと弁当(おひさま1・2)
	30	水	・カレーの日(おひさま1・2) ・トンボ作り教室(井関にこにこ)
	31	木	・おたのしみ会(おひさま1・2)

※毎月・けん玉教室(井関にこにこ)・学校運営協議会(井関にこにこ)

毎月支援員会議(おひさま1・2・井関にこにこ)

[職員の研修関係]

- ・放課後児童健全育成関係職員等初任者研修会・放課後児童支援員認定資格研修・児童クラブ代表者会議
- ・放課後児童健全育成関係職員等資質向上研修会・放課後児童健全育成関係職員等中堅者研修会

### <成果と課題>

コロナウイルス感染拡大の中で感染症の防止対策を日々実践しながらの1年だった。今年度も新しい生活様式がこれからどこまで続くのかは先が見えないが、感染予防対策をしていく。その中で地域・学校と連携した行事も開催できた。来年度に向けて、学校・地域・保護者と連携しながら、子どもたちの放課後を支えていく。

### ④徳地児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・放課後児童クラブ事業の円滑な運営(支援員9名、補助員1名)

登録学童 60名(3学級)

開設日数 出雲児童クラブ 256日開設(土曜日15日) 登録学童 25名

開設日数 八坂児童クラブ 285日開設(土曜日39日) 登録学童 15名

開設日数 島地児童クラブ 259日開設(土曜日15日) 登録学童 20名

月	日	事業内容
4	1	・保育開始
5	6	・こどもの日のお祝い(島地)
7	20	・ミニお楽しみ会(島地)

月	日	事業内容
8	3	・セーフティーセミナー(島地) ・手ぬぐい染め、カバン作り等(八坂) ・ナンプレ、風船バレー(出雲)
10		・俳句作り(出雲)
12	24	・お楽しみ会(島地) ・クリスマス会(出雲・八坂)
令和4, 1	7 11	・新年お楽しみ会(八坂) ・鏡開き(出雲)
2	3	・節分(豆まき)(出雲・八坂・島地) ・スピード大会(出雲)
3	25	・入級説明会(出雲・八坂・島地) ・お楽しみ会(島地) ・お別れ会(出雲・八坂)

### 《成果と課題》

放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。入級児童数は横ばいの状況であり、約6割が開所時間延長事業を利用している。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、消毒、検温、手洗い、換気等感染症対策に留意した運営に努めたが、一方で多くの行事を取りやめた。

また、八坂児童クラブは、小学校敷地内にある建物(旧寄宿舎)の一部を利用しているが、施設が老朽化し防災の面から不安である。

### ⑤阿東児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) \* 受託事業

○事業内容: 小学校の放課後や土曜日、学校の長期休業中に、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

徳佐児童クラブ 開設日数 267日開設(内土曜日26日) 登録学童 12名

さくら児童クラブ 開設日数 262日開設(内土曜日21日) 登録学童 20名

月	日	行事内容
11	16	徳佐児童クラブ・さくら児童クラブ合同入級説明会

### 《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止措置が出される中、消毒、検温、手洗い、換気等感染症対策を十分に行って運営をした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの行事がとりやめた。今後も新しい生活様式を取り入れ子どもたちが安心安全に過ごせるよう配慮する。

## ⑥放課後児童クラブ運営会議

○事業内容：児童クラブ事業推進室が平成31年4月に本会の運営する児童クラブの課題に取り組むため設置された。その課題解決を行う場として放課後児童クラブ運営会議が設置された。

今年度は以下のとおり協議し、課題解決に取り組み、共通認識を図った。

○年間開催回数 5回

開催日	協議内容
6月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任・副主任の業務内容について</li> <li>・放課後児童クラブ事業調整について</li> <li>・勤怠管理システムについて 等</li> </ul>
8月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ事業調整について</li> <li>・児童クラブ安全対策・危機管理マニュアルについて</li> <li>・山口市社協放課後児童クラブ従事者心得について</li> <li>・コロナ対策費による物品等購入費の整理について</li> <li>・データファイルのパスワードの使用について</li> <li>・一斉メール配信システムについて</li> <li>・おやつ代の口座振替サービスについて 等</li> </ul>
10月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童クラブ事業調整について</li> <li>・起案の回し方について</li> <li>・勤怠管理システムについて</li> <li>・短時間労働者に対する社会保険の適用拡大について</li> <li>・児童クラブ代表者会議報告 等</li> </ul>
12月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金改善手当について</li> <li>・スポーツ安全保険について</li> <li>・放課後児童クラブ従事者の心得について</li> <li>・クロッシオンについて</li> <li>・コロナ対応の実施内容について</li> <li>・購入伺いについて</li> <li>・個人情報の取り扱いと苦情について</li> </ul>
令和4年 2月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ支援員中堅者研修会について</li> <li>・スポーツ安全保険について</li> <li>・雇用形態の確認について</li> <li>・予算・決算について</li> <li>・放課後児童クラブ事業調整シートについて</li> <li>・開所方法の調査について等</li> </ul>

### 《成果と課題》

5地区の児童クラブの現状を把握し、調整できる項目は協議を行い解決を図った。また、未調整の項目については現状を踏まえながら来年度話し合いを行う。

## 4) 子育てサロンの推進

○ふれあい・いきいきサロンの子育てサロンは、現在の登録数が8サロンある。今年度は高齢者サロンと合同で担い手同士の交流を目的に交流会を開催したが、主任児童委員の参加を募ったこともあり、活発な意見交換ができた。

## (2) 母子・寡婦・父子家庭福祉事業の推進

・山口市母子寡婦福祉連合会への支援

## 5 社会福祉法人の地域公益活動の支援

平成30年3月13日に「山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」の設立総会を行い、同年度から同協議会の取組みをスタートさせた。本会は同協議会の事務局を担っており、市内の社会福祉法人が連携・協働して、地域公益活動に取組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進している

年月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会
4月	20日(火) 監査会監事2名 21日(水) 第1回役員会開催 ・理事6名出席 ・総会について他		
5月		26日(水)総会延期	20日(木) 第1回中央部エリア部会開催
7月	21日(水)総会終了後 第2回役員会開催 ・理事7名出席 ・研修会について他	21日(水)令和3年度総会開催 ・17法人30名出席(内2名、オンライン) ・議事のみ、講演なし	
8月		会費依頼 31日(火)第1回研修会延期	
9月			30日(木) 第2回中央部エリア部会開催
10月	19日(火) 第3回役員会開催 ・理事5名出席 ・プロジェクトについて他		
11月			9日(火) 第1回南部エリア部会開催 22日(月) 第1回北部エリア部会開催 30日(火) 第1回プロジェクト会議開催
12月		13日(月)第1回全体研修会開催 ・15法人29名出席 ・山口刑務所視察及びコレワーク等について	
令和4年 1月	25日(火) 第4回役員会開催 ・令和4年度福祉公益協事業計画(案)について他		

年月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会
2月		25日(金)第2回全体研修会開催 ・15法人27名出席(オンラインのみ) ・「各法人が行っている地域公益活動について」	28日(月) 第2回プロジェクト会議開催
3月	14日(月) 第5回役員会開催 ・令和4年度総会について 他		10日(木) 第2回南部エリア部会開催 18日(金) 第3回中央部エリア部会開催 22日(火) 第2回北部エリア部会開催

### 《成果と課題》

令和3年度から中学校の学習指導要領改訂により、介護の授業が導入されるにあたり、市介護保険課から委託事業として、「介護体験事業」を受託し、8中学校の生徒を対象に8法人の職員に講師として、講義と体験学習を実施した。これまでは全市的な事業実施ができていなかったが、高齢者分野では実現することができた。今後、大規模校の実施や障がいや児童等の他分野まで広げていくのが、課題となる。

また、ひきこもりや生活困窮者、刑余者等の取り組みについては、プロジェクトチームを立ち上げ、関係機関へのヒアリングの上で、会員法人と関係機関・団体へのアンケート調査を実施し、現状の把握に努め、今後の方向性について、協議につなげた。

事業の検討及び実施する主体として、各エリア部会で各部会長を中心に事業実施に向けた協議を行ったが、事業に関しては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の事業は中止した。また、事業実施に向けた協議を重ねる中で、法人間のネットワークづくりや情報交換につながっている。さらに、コロナ禍での事業継続等のため、オンライン研修会を1回実施した。オンラインであれば、旅費等もかけずに全国的にも先進的な活動に取り組む方々の話も聞くことができるため、積極的に活用していきたい。

今後の課題は、事業実施のための予算確保、実施に向けた仕組みづくり、社会福祉法人の事業活動の更なる周知啓発など多岐にわたる。

## 6 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実

### (1) 利用者保護支援事業の推進

#### 1) 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症、知的障がいや精神障がい等の理由により、判断能力が十分でない方々の生活を支援する地域福祉権利擁護事業は、開始以来22年6箇月が経過し、本会が事業推進を担っている。

#### ○新規のべ相談件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
北部	32	12	28	32	104
南部	20	9	21	14	64
合計	52	21	49	46	168

○新規契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
北部	2	2	3	2	9
南部	3	1	5	2	11
合 計	5	3	8	4	20

○解約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
北部	7	0	4	1	12
南部	4	1	3	0	8
合 計	11	1	7	1	20

○利用者数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
北部	30	23	36	5	94
南部	8	22	27	4	61
合 計	38	45	63	9	155

○研修並びに会議等

研修会講師派遣 12月16日 山口市成年後見セミナー

2月 7日 川西圏域ケアマネ情報交換会(ケアマネっと)

推進員・生活支援員合同研修会 0回

現物調査 11月29日

○生活支援員人数 18名 (実活動人数17名)

《成果と課題》

新規契約件数は20件であった。昨年度と同様、利用者の判断能力の低下などの状況を踏まえて適宜成年後見制度への移行支援を実施し、解約件数20件の内7件が成年後見制度へつながった。

今後も関係機関と円滑に連携を図ると同時に職員一人一人の援助スキル向上を図ることで適切な支援の実施に努める。

2) 法人成年後見事業の実施

平成25年度に山口家庭裁判所へ登録申請を行い、法人後見人等候補者名簿への登録が平成26年度6月に完了した。令和4年3月末現在で8件を受任(2件終了)している。

○法人成年後見受任状況

No.	性別	受任時期	類型	申立人	生活場所	備考
1	男性	H27.1 審判	後見	親族(子)	在宅	終了
2	女性	H27.3 審判	後見	山口市長	施設	終了
3	女性	H28.7 審判	後見	山口市長	病院	
4	男性	H30.9 審判	後見	後見人	在宅	
5	女性	R2.9 審判	後見	山口市長	在宅	
6	女性	R3.12 審判	後見	山口市長	病院	

7	男性	R4.2 審判	後見	家庭裁判所	施設	
8	女性	R4.3 審判	保佐	本人	在宅	

### 《成果と課題》

本会としては法人成年後見の受任を開始して7年が経過し、山口市は成年後見制度利用促進基本計画を策定し、本格的に権利擁護のネットワークが構築されることが期待される。そのような中、地域福祉権利擁護事業利用者の中で成年後見制度への移行が必要と思われる利用者の見直しを図り、本年度は新たに3件受任した。今後も計画的に受任を検討し、両制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めていく。

## 7 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進

### (1) 生活相談事業の効果的・効率的な運営

#### 1) 法律相談の実施

○相談日 : 毎月第1水曜日(北部支所エリア)と第3水曜日(南部支所エリア)

○相談時間: 午後1時30分から午後3時30分まで(1日4件:1件30分以内)

相談事項		件数	相談事項		件数
家事	離婚	3	不動産	土地建物登記請求	2
	遺言相続・遺産分割	28		賃貸借・売買紛争	2
	その他	2		境界・相隣関係の紛争	4
損害賠償請求		3		土地・建物明渡	1
債権・債務		9		不動産売買	2
労働		5		その他	1
その他		7		合計	69

### 《成果と課題》

市民の抱える法律的諸問題に、弁護士による専門的な立場から指導・助言が行われた。

本年度の開催においては、予約が入らなかった1回を除き、予定どおり開催することが出来た。相談件数はやや増加した。

#### 2) お元気コールの実施

○事業内容: ひとり暮らし高齢者の希望者に対し、電話による声の訪問を実施

○実施頻度: 利用者に応じて週1回・月2回・月1回の実施

○利用者数: 14世帯(開始件数3、休止件数0、廃止件数3)

### 《成果と課題》

定期的な声の訪問により、利用者の「安全・安否の確認」や「健康状態の確認」、「精神的ケア」を図るとともに、通話中に発見した福祉ニーズ(困りごと)を関係機関へ繋ぎ、問題の早期解決に役立っている。

新規契約が2件あり、事業への需要がある。緊急時対応等についても関係機関と協議する必要がある。

### (2) 各種資金の貸付相談窓口の開設

他機関から借り入れが困難な失業者世帯や低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度及び法外援護資金について、相談対応と貸付等を行った。

各種資金の貸付相談窓口		相談件数	貸付決定件数
1	生活福祉資金貸付 (総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ資金)	1,780	540
2	生活福祉資金貸付資金償還(職権)免除	0	—
3	不良債権の督促指導(面接及び督促)	0	—
4	法外援護資金の貸付	81	36
5	食糧支援の実施	27	27
6	高額介護サービス費つなぎ資金貸付	1	0
7	生活安定対策資金の貸付	0	0
合 計		1,861	603

※(償還指導): 山口県社会福祉協議会の貸付金については、山口県社会福祉協議会より直接郵送等で償還指導している。本会の法外援護資金については、本会より年一度、郵送にて償還指導している。

### 《成果と課題》

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策の特例緊急小口資金等の相談と生活困窮世帯を中心に、延べ1,861件の相談と603件の貸付件数があった。資金の貸付に限らず、必要に応じて食糧等の現物支給も実施した。

今後も、生活困窮者自立支援事業実施機関をはじめとして関係機関と連携を密にし、具体的な支援を行い、生活困窮者の自立促進を図っていく。

### (3) 歳末たすけあい配分金の効果的運用

(単位:円)

No.	配分対象又は事業名	算出基準	件数	配分額
1	88歳以上の見守りが必要なひとり暮らし高齢者	1名当たり物品985円	795名	783,075
2	当年度末に児童養護施設を就職・進学等で退所する児童	1名当たり 上限70,000円	7名	490,000
3	市社協登録子育てサロン	上限15,000円	4サロン	60,000
4	地域住民のつながりを構築するための活動・行事(地区社協)〈新〉	上限30,000円	7地区社協	187,000
5	ひとり親(母子父子等)世帯で、満18歳未満の子どもがいる非課税世帯	世帯当り 10,000円	66世帯	660,000
6	障害者手帳を所持している非課税世帯	世帯当り 10,000円	179世帯	1,790,000
7	要介護3・4・5の認定を受けている方がいる非課税世帯	世帯当り 10,000円	30世帯	300,000
8	生活困窮世帯	世帯当り 10,000円 世帯員1名増ごとに 3,000円加算	103世帯	1,744,000
9	あったか相談会(生活困窮者等相談会)〈新〉	会場費・食料支援	112件	376,651
10	罹災世帯	全焼・半焼1件当り 20,000円	6件	120,000
11	地域と交流授業を行う児童福祉施設や障がい児通所施設等	上限40,000円	4施設	148,000

No.	配分対象又は事業名	算出基準	件数	配分額
12	地区社協広報支援事業	地区社協だより発行 1回分 (上限40,000円)	21地区社協	803,401
13	市社協広報啓発	社協だより発行の一部	4回	1,000,000
14	歳末活動費	消耗品費・通信運搬費		277,875
15	令和3年度地域福祉活動事業費			2,542,803
	合 計			11,282,805

### 《成果と課題》

5は新たに追加した項目である。6と8の利用は前年度より増加したが、7の要介護3・4・5の認定を受けられている非課税世帯の利用は逆に減少した。申請方法や啓発方法について、今年度も見直しを行ったが、更に利用しやすい仕組みにするために検討の必要性はある。

4, 9については、今回新たな取組として行った事業であるが、周知方法や対象者の選定などが分かりにくく、十分な利用状況ではなかった。

事業については、今一度内容を精査し、地域課題にあったものであるか内容を改めて検討していくことも必要である。

## 8 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

### (1) 高齢者福祉の推進

#### 1) 介護相談員派遣等事業の実施

\* 受託事業

##### ○介護相談員派遣等事業内容

介護サービスの提供の場を訪ね、サービスを利用する方等の話を聞き、相談に応じ利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに介護サービス事業所の質的な向上を図ることを目的として、平成14年から山口市の委託を受け、介護相談員2人1組となって訪問を実施している。

##### ○実施対象の介護サービス

①施設サービス： 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

②居宅サービス： (介護予防) 特定施設入居者生活介護  
通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション  
(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養護

③地域密着型サービス： 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

(介護予防) 認知症対応型通所介護

地域密着型通所介護

総合事業通所型サービス

(介護予防) 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

## ○事業実施範囲と実施事業所数

山口市内の事業所 70箇所

## ○事業実施結果

〈介護相談内容〉

内 容	件数	内 容	件数
入所・退所・利用料金	1	その他のサービス	1
設備・備品	4	介護保険料	0
食事・嗜好	5	利用料	2
トイレ・排泄	2	給付内容	2
入浴・清潔	3	その他の介護保険	4
趣味・娯楽	11	医療保険制度	0
人間関係・プライバシー	6	老人福祉制度	0
施設・職員の対応	8	老人保健制度	0
健康・医療・リハビリ	38	病気・健康管理	1
移動・送迎	1	家族問題	6
安全管理	0	その他	9
拘束	0	合 計	104

内 容	件数
気付き	58
実相談数	96
利用者数	1,608

### 《成果と課題》

本年度101事業所訪問の予定だったが、昨年同様、コロナウイルス感染症対策のため31事業所から中止の希望があり、70事業所になった。（昨年度は68事業所）

相談者・相談件数は、96名、104件で昨年とほぼ同じ。介護相談内容も、昨年と変わらず、健康・医療・リハビリに関する内容が一番多かった。

「コロナがいつ収束するのか、家族と会えず不安。」と利用者の声、一方事業所からは、「コロナ禍でも家族に会いたいという気持ちを大事にして、全面的に面会を中止せず、タブレットや窓越し、面会室というように細やかな対応をしている。」「ガラス越しで誰でも会えるようにしようかと考えている。5分でも会えたらお互いに安心されると思う。」など色々と対策をとられていたのだが、相談内容の中で、職員の対応、介護保険制度や給付関係、家族問題が倍になっていたのが気になった。コロナ禍で、何か施設内で変化したことがあったかもしれないし、家族に会えないことも要因のひとつだと思った。

成果として、「利用者が日ごろ言えないことを聞いてもらって良かった。厳しい意見も参考になる。」「（介護相談員の気づきより）色々改善してきた。コロナ禍でも利用者には元気で過ごしてもらえよう努力したい。介護相談に来てほしい。」と有難い声をいただいている。

令和4年4月から、介護保険サービスを提供する施設・事業所だけでなく、介護保険外の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅まで広く対象拡大する。また、名称を「介護相談員」から「介護サービス相談員」に変更する。「サービスの質の向上」のみとなっていたため、「利用者の自立した日常生活の実現」を追記する。

訪問予定事業所は127事業所。（そのうち有料施設は12事業所）概ね120事業所の訪問を目指したい。

課題としては、今後も介護相談員自身の感染対策を怠らないよう気をつけて実施したい。利用者やその家族の話に耳を傾け、その言葉だけでなく介護相談員自らが気づいたことなどを事業所に報告して、事業所との関係性を作っていく。新たな事業所だけでなく、何度も訪問している事業所にも事業目的や効果をアピールして、風通しの良い関係性を作りたい。

## 2) 居宅介護支援事業の実施

### 1. 南部指定居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	115件	2件	10	114件	2件
5	110件	2件	11	116件	2件
6	111件	2件	12	111件	2件
7	114件	2件	令和4・1	111件	2件
8	115件	2件	2	113件	2件
9	113件	2件	3	111件	2件
合 計				1,354件	24件

#### 《成果と課題》

今年度も、新型コロナ感染症防止対策を取りながら利用者の支援を行った。次年度は、感染症や災害時に事業が継続できるように BCP(事業継続計画)を作成し、利用者への居宅支援やサービスが切れ目なく提供できるようにしていきたいと考えている。

また、ネットワーク環境が整い、オンラインでの研修や会議に参加することができたが、対面方式で開催予定だった事例検討などは、感染拡大に伴い中止されている。これからも、よりよい援助ができるようにスキルアップにつとめていきたい。

### 2. あとう居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	131件	0件	10	124件	0件
5	133件	0件	11	125件	0件
6	138件	0件	12	117件	0件
7	128件	0件	令和4・1	113件	0件
8	129件	0件	2	112件	0件
9	128件	0件	3	115件	0件
合 計				1,493件	0件

#### 《成果と課題》

今年度は新型コロナ感染症防止のため、会場に行き受ける研修自体は昨年同様少なかったが、オンラインの研修は昨年より充実した。一人一人のスキルアップのため、参加できる研修には積極的に参加していく。

利用者数は昨年より減っているが、複数の問題を抱えた利用者も増えてきて、関わる時間が圧倒的に増えたと感じる。

今後も利用者とその家族の意向を踏まえつつ、自宅で安心して暮らしていただけるよう支援に努める。

### 3) 訪問介護事業の実施

○サービス利用者数

	サービス内容				
	延べ利用者数	身体介護	身体生活介護	生活援助	総合支援事業
阿東	485名	2, 223. 75時間	2, 797. 5 時間	908. 5時間	158名
南部	680名	3, 836時間	1, 145時間	753時間	445名
合計	1, 165名	6, 059. 75時間	3, 942. 5時間	1, 661. 5時間	603名

#### 《成果と課題》

昨年度と比べ、全体的には利用者数は、介護の提供時間ともに減少している。

内容については、老計第10号(厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長通知)にある、「自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助」での身体介護の訪問が増え、生活援助が減少している。

訪問先では、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者が不安なく安心してサービスが受けられるよう努めた。

南部訪問介護事業所では、訪問依頼があっても、登録訪問介護員の高齢化等に伴い、受け入れが困難な状況もあった。登録訪問介護員の増員が課題である。

あとう訪問介護事業所は、昨年度に比べ利用者数は減少している。職員数に対して需要過多で、受け入れが困難なこともあった。

令和4年度は職員数が増えたため、近年減少傾向にある提供時間数の増加を目指すとともに、利用者の満足度の向上のため職員一人一人が均一な水準でサービスが提供できるよう、内外の研修を通して質の向上を図りたい。

### 4) 訪問看護事業の実施

○対象地域 阿東地域

月	介護保険		介護予防		医療保険	
	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数
4	64名	289回	12名	50回	12名	79回
5	62名	228回	13名	51回	13名	85回
6	58名	250回	13名	60回	15名	107回
7	60名	264回	13名	52回	15名	111回
8	61名	276回	12名	50回	14名	94回
9	58名	270回	11名	49回	13名	86回
10	56名	264回	12名	49回	13名	85回
11	54名	261回	11名	46回	12名	85回
12	53名	232回	11名	48回	13名	80回
令和4、1	48名	226回	11名	43回	12名	87回
2	51名	210回	12名	43回	11名	72回
3	52名	279回	12名	52回	11名	71回
合計	677名	3, 049回	143名	593回	154名	1, 042回

## ＜成果と課題＞

本年度は看護師1名が新規採用となり6名でスタートしたが、年度途中で1名退職したため5名体制でサービスを行った。訪問看護の内訳は、昨年と比べ、介護保険は利用者・訪問回数ともに減少した。介護予防は、利用者・訪問回数ともに昨年とほぼ同様。医療保険は点滴・処置等の一時的な利用者が多く、年間を通しての利用者・訪問回数は減少した。新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら訪問を継続中である。

研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図り、在宅医療ニーズ等の増加に対応できるようにしたい。

阿東地域は高齢者が多く、今後も在宅介護は増加していくと予測される。住み慣れた自宅で、安心して過ごすことができるように支援するためにも人材確保が一番の課題である。

### 5) 山口市川西地域包括支援センターの運営

#### \* 受託事業

#### 1 ネットワークの構築

出席数

##### ① 包括ケア会議出席状況

個別ケア会議	11回	
地域別ケア会議	3回	
住民主体会議	24回	
地域包括支援センター連絡会議	12回	
ネットワーク構築のための会議	79回	
内訳	(1)民生委員・児童委員協議会	50回
	(2)福祉員会	14回
	(3)地域密着型サービス運営推進会議	9回
	(4)居宅部会等介護支援専門員関係	6回
	(5)地区社会福祉協議会理事会等	0回

#### 2 総合相談・支援業務

総合相談への対応状況(業務区分のその他を除く)

(件数)

電話	実件数	218件
	延件数	1, 145件
来所	実件数	69件
	延件数	216件
訪問	実件数	47件
	延件数	523件
文書・Eメール	実件数	0件
	延件数	0件
その他	実件数	3件
	延件数	22件
合計	実件数	337件
	延件数	1, 906件
夜間・土・日・休日		58件

・相談内容

(延件数)

介護予防	131件
生活支援	892件
虐待	0件
認知症	250件
介護保険	929件
閉じこもり	20件
緩和ケア	25件
総合事業	7件
障害者自立支援	4件
その他	1, 112件
合計	3, 370件

### 3 権利擁護業務

・権利擁護への対応 (延件数)

地域福祉権利擁護事業に向けての支援	7件
成年後見制度利用に向けての支援	16件
消費者被害に対する支援	0件
措置入所に対する支援	5件

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (延件数)

介護支援専門員への個別相談	37件
---------------	-----

### 5 介護予防業務実施状況 (実件数)

介護予防出張講座	3件
----------	----

### 6 指定介護予防支援業務

介護予防支援業務

予防給付プラン作成件数 (件数)

(開催数)

年間給付管理件数	5, 573件
新規作成件数	118件

サービス担当者会議	360回
-----------	------

\* 介護予防支援業務に関する研修会への協力

### 7 その他 (実施回数)

広報活動(地域包括支援センターに関するPR等)	20回
-------------------------	-----

### 8 認知症地域支援推進員

#### ■認知症対応力向上のための支援

介護支援専門員からの相談、支援	6回
認知症カフェとの連携	6回
地域団体との連携(認知症啓発等)	8回
介護サービス施設管理者	1回
キャラバンメイトとの連携	2回
地域福祉計画への参加	4回

#### ■認知症予防・普及啓発 (実施回数)

認知症サポーター養成講座	4回
介護予防講座、調整	1回
図書館等公共施設との連携	7回
福祉用具事業所との連携	4回
山口県薬剤師会との連携	2回

#### ■相談支援・支援体制構築

相談への対応状況(業務区分のその他を除く) (件数)

電話	実件数	53件
	延件数	67件
来所	実件数	13件
	延件数	14件
訪問	実件数	44件
	延件数	49件
その他	実件数	11件

広報活動(認知症地域支援推進員に関するPR)	14回
------------------------	-----

## 9 生活支援コーディネーター(第2層)

### ■地域組織からのニーズ把握の実績

主催者団体名	内容 (聞き取り方法・参加会議名等)	内訳		
		訪問	参加	その他
おごおり地域づくり協議会 (健康福祉部会)	会議参加		5回	
嘉川地区民生委員児童委員協議会	会議参加		4回	
佐山地区民生委員児童委員協議会	会議参加		3回	
小郡地区民生委員児童委員協議会	会議参加		6回	1回
阿知須地区民生委員児童委員協議会、阿知須地区社会福祉協議会、NPO法人山口ヘルスプロモーションネットワーク	アンケート実施のための連絡調整、会議出席、アンケート実施		9回	2回
小郡地区社会福祉協議会	会議参加、地域課題の聞き取り、視察研修	1回	1回	
嘉川地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回		
佐山地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回	1回	
阿知須地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回		
	個別情報交換会への参加		4回	
佐山地域づくり協議会及び佐山地区社会福祉協議会	地域福祉活動計画策定委員会への参加		4回	
老人クラブ連合会小郡支部	地域課題についての意見交換			2回
自立支援型地域ケア会議	会議参加		10回	

### ■地域資源の把握に関する実績

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
百歳体操グループ	53回		18回
各地域交流センター	4回		
公共施設(生きがいセンター)介護保険施設	5回		
趣味サークル(個人)	1回		2回
商店等	3回		
地域住民(民生委員、あい・ねっと佐山)	1回		2回

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
地域の企業(コープやまぐちこと小郡店、はんど、ベンリー、サンキ・ウエルビー介護センター小郡、携帯電話会社、補聴器関連企業等)			12回

#### ■生活支援サービスの立ち上げ支援に関する実績

地域	支援した相手	訪問回数
小郡	駅北健増クラブ	5回
小郡	尾崎みのり会	4回
小郡	キリスト教団小郡協会(津市上)	5回
小郡	らららクラブ(光が丘南)	4回
小郡	大正上老人クラブ	4回
小郡	柳井田	4回
小郡	明治3地区	1回
嘉川	親和会(大原)	3回
阿知須	砂郷百歳体操	5回

#### ■協議体設置及び運営に関する活動実績

協議体名	回数
小郡地区第2層協議体	2回
阿知須地区第2層協議体	2回
ご近所助け合い活動モデル事業	2回
広報活動(生活支援コーディネーターに関するPR)	48回

#### 《成果と課題》

本センターは、嘉川・佐山・小郡・阿知須地区における高齢者の総合相談窓口として山口市から受託業務を行っている。事業所は、小郡保健福祉センター内にあることから、他の地域包括支援センターと比べ来所相談が多い。

小郡地区においては、小郡地区社協の福祉部会と連携し、認知症関係について、令和4年度に認知症徘徊模擬訓練を計画しており、銚銭司地区社協が行う認知症徘徊模擬訓練の視察及び認知症サポーター養成講座を上郷小校区、小郡小校区、小郡南小校区で行った。また、市老人クラブ連合会小郡支部と協働して、地域の支え合いの組織化等についての話し合いを行った。

さらに、地区民生委員と薬剤師、介護支援専門員との連携を深めるため地域ケア会議を行った。関係者より、今までと異なった意見を聞くことができ、関係者が集まったことにより、実りのある集まりであったとの声があがった。

阿知須地区においては、阿知須地区民生委員児童委員協議会とNPO法人 山口ヘルスプロモーションネットワークと協力し65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯のニーズ調査を行い、課題のある世帯に対して支援を行った。

嘉川地区においては、嘉川地区老人クラブ連合会へ介護予防及び見守り支援を働きかけ百歳体操を普及することができた。また、地区社協理事会へ出席し、生活支援コーディネーター及び地域の支えあいの仕組みづくりについて周知を行った。さらに、地区広報誌に認知症の方への対応方法等を掲載していただき、地域住民へ周知を図った。

佐山地区においては、小地域福祉活動計画の策定にかかわった。認知症が増加している中、認知症への取り組み等を行うことについて計画に位置付けることができた。あい・ねっと佐山と情報交換を行い、地区の現状を把握し、地域の集いの場になっている飲食店やカラオケ店へ訪問し、情報収集を行うことができた。啓発活動として地域交流センターや地区社協に情報誌の掲載に向けての話し合いを行った。

令和4年度から川西圏域の地域包括支援センターが川西地域包括支援センター(担当:小郡地区)と川西第2地域包括支援センター(担当:嘉川、佐山、阿知須)に2分割され、両センターの運営を本会が担うこととなった。

今までも、地域や老人クラブ、薬剤師会、NPO法人、介護支援専門員等から、高齢者の地域課題等についての情報交換会や課題解決のための支え合いの仕組みづくりに取り組んできたが、今後はより地域に密着した取り組みが期待される。

## 6) 徳地教室型運動ショートプログラム(A-③)

**\* 受託事業**

介護予防・日常生活支援総合事業により徳地教室型運動ショートプログラムを3会場で実施した。

### ○出雲地区

会場	徳地保健センター
日時	毎週1回(月曜日)午後2時~4時
参加人数	3名
参加延人数	27名

### ○八坂地区

会場	徳地地域交流センター八坂分館
日時	毎週1回(水曜日)午後2時~4時
参加人数	2名
参加延人数	23名

### ○島地・串地区

会場	徳地地域交流センター島地分館
日時	毎週1回(金曜日)午後2時~4時
参加人数	2名
参加延人数	17名

## 《成果と課題》

体操やレクリエーションを継続することにより、介護予防についての意識が向上し体力の維持ができています。

一方で、対象となる特定高齢者選定の困難さや教室期間が3箇月で終了することで、利用者の確保が課題であるが、各会場で1名以上の利用者確保に努める。

次年度も今年度同様、課題解決のための協議を関係機関とも行い、今後の対応を検討する予定である。

## 7) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

**※補助事業**

### ①徳地元気いきいきひろば設置運営事業

○事業内容:高齢者の閉じこもり防止や生きがいづくり、体力の維持・改善を目的として、健康チェック及び健康相談、体操やレクリエーション等を行う。

○会場:3箇所(徳地保健センター、徳地地域交流センター八坂分館、徳地地域交流センター島地分館)

○開催数:119回開催

○延べ人数:966名

## 《成果と課題》

やまぐち元気アップ体操やからだと頭を使うレクリエーションを取り入れ、身体機能の改善や認知症予防につなげている。

八坂地区では、利用率が低下傾向にあり、利用者が2名という日も多くあったため、地域包括支援センターと連携し、利用者への参加の呼びかけや新規利用者の確保に努める。

次年度も今年度同様、課題解決のための協議を関係機関とも行い、今後の対応を検討する予定である。

## (2) 障がい者福祉の推進

### 1) 社会福祉センターしらさぎ会館の運営

障がい者及び福祉団体の活動の拠点であるしらさぎ会館は、障がい者団体等と連絡を取りながら、障がい者が気軽に集うことができる開かれた施設を目指して運営を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、今年も昨年同様の利用にとどまった。

地域活動支援センターⅡ型事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者等派遣事業、要約筆記者派遣事業などにより障がい者が自立した社会生活ができるよう支援した。

#### 【しらさぎ会館利用状況】

種 別	件 数	人 数
会館通所事業	263	2,407
障がい者団体	232	1,651
福祉団体	365	3,530
その他	1	16
合 計	861	7,604

#### 【全館事業】

##### 《地域生活支援事業》

#### ① 地域活動支援センターⅡ型事業

事業内容は、創作的活動及び生産活動の機会の提供、社会との交流に関する基礎的事業、地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対する機能訓練・社会適応訓練・送迎支援等のサービスを実施する機能強化事業がある。

基礎的事業では、健康体操、絵画、絵手紙、書道、音楽レクリエーションの講座及び特別講座や誕生日を実施した。

機能強化事業では、盲サロン、デフサロン、難聴者サロン、脳トレ、カラオケ、ボウリング、パソコン、ハンドメイド、ものづくり、手話、ヨガ、体力測定、陶芸、太極拳、運動教室、園芸、ひも体操、脳トレ、工作、トランプ・オセロ、卓球バレー、スポーツ・ゲーム等の講座を実施した。

○利用者延べ人数 2,407人

#### 【障がい別利用状況】

身体障がい	肢体不自由	3人
	視覚障がい	18人
	聴覚障がい	21人
	内部障がい	2人
知的障がい		1人
精神障がい		8人
重複障がい		5人

## 《成果と課題》

今年度も昨年に引き続いて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、8月末～9月26日まで講座が休みとなったが、コロナ禍での新しい生活様式が定着してきたためか、昨年度に比べると延べ約350人利用者が増加した。

外出もあまり出来ず、会館内だけの講座中心となったため利用者の不満も聞かれたが、感染対策をしながらのカラオケや、ウォーキング、初詣などの外出企画も少しずつではあるが再開することができた。

講座の内容では運動系が人気であり、今年度は初めて太極拳の講座も開講した。運動系の講座では利用者の高齢化が進んで基礎疾患のある人も増えているため講座内容を検討し、椅子に座ってできるものを増やすことで、障がいにかかわらず誰でも参加できるよう工夫した。

講座の利用者数が15名に足りない日もあるため、各講座の内容を案内するために、チラシや作品見本などを利用して利用者が気軽に参加しやすいよう働きかけた。また参加者が多い講座とのバランスをみながら予定も組んでいった。

今後も、利用者の声に耳を傾け一人ひとりの体調管理を充分に行い、利用者が安心して安全に集える講座・場所作りを目指したい。

## ② 手話通訳者設置事業

ろう者とは、生まれつき、または音声言語を獲得する前に聞こえなくなり、手話言語を獲得している聴覚障がい者である。ろう者が日常生活の上で他者と意思疎通をする際の支援として手話通訳を行っている。また、聞こえないことから生じる情報不足等により生活上の困難を抱えるろう者に対して、相談活動も行い、問題解決に向けて家族や専門機関へつなぎ、連携をとりながら、継続的な通訳と相談支援を行っている。

【 設置通訳者対応内訳 】

	【分類】	【担当実績】		【件数】
		(北部) しらさぎ会館	(南部) 南部支所	全域合計
設置通訳者 3名 (常勤 3名)	行政	77	20	97
	医療	144	122	266
	労働	4	4	8
	文化	6	0	6
	教育	5	13	18
	警察	3	1	4
	その他	113	102	215
	合計	352	262	614

## 《成果と課題》

本年度の対応件数は614件と昨年度の791件に比べ177件減少している。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で登録通訳者へ派遣依頼できなかった時期に設置通訳者が担う通訳が多かったが、本年度は新型コロナウイルス感染状況に応じて登録通訳者へ派遣依頼をすることができた。また、設置通訳者から登録通訳者への現場引き継ぎを行い、派遣対応としたものがあつた。

設置通訳者は通訳だけでなく、相談対応等も多岐にわたり、ろう者それぞれに応じた対人支援が重要になっている。

本年度の特記する点は、①しらさぎ会館だけでなく南部支所に設置通訳者が1名配属になった。ろう者からの通訳申請や相談、登録通訳者からの報告、相談等の対応ができ、南部地域の利便性が高まった。支援が必要ならう者への訪問を行うなど、南部地域内で対応ができた。

②「遠隔手話通訳サービス」の利用開始に向け、しらさぎ会館内の環境整備を行い、3月から実用可能となった。新型コロナウイルス感染防止のため、通訳者が入れない施設に入所中や入院中のろう者への通訳保障ができるようになる。今後、本格的な実用のため、周知と申請登録を進めていく。

③登録通訳者(山口市意思疎通支援者)の増員をはかるため、登録試験対策講座を8回開催した。奉仕員証を所持し、通訳活動を目指す6名が受講し、3名が登録試験に合格した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策として、通訳時にろう者と通訳者に対し「感染予防チェックシート」での健康管理をおこなった。また登録通訳者に感染防止と情報保障のため「顔がみえるマスク」、不織布マスクを配付した。

本年度もろう者の高齢化から病院受診や介護に関する「医療」の件数が多くなっている。その中でも重篤な内容については、関係機関との連絡調整を行った。また、身寄りのない高齢ろう者については、住居や入院時の相談、対応などを専門機関と連携して専門的な通訳も行った。

「医療」に次いで件数が多い「その他」の内容は、文章理解が難しいろう者へ書類の内容を手話で説明することや電話ができないろう者が店舗などへ連絡する際の相談や電話通訳がある。日常生活の様々な内容の相談対応も受けている。

また、山口市消防本部とも連携をとり、救急要請時に消防隊員との通訳対応を1件行った。救急搬送については関係機関との連携手順の再確認をしていく。

今後も高齢でひとり暮らしの生活に困難をかかえているろう者には、関係機関と連携をとり、適切な支援ができるように努める。総合的な支援が必要になっているろう者に対しても、相談支援や訪問支援を行い、ろう者の自主性を尊重しながら、関係機関と連携し、適切な支援ができるように努める。また、聞こえないための不安や心配のない体制作りにも努める。

### ③ 手話通訳者等派遣事業

ろう者が日常生活の上で他者と意思疎通をする際の支援として登録通訳者(24名)を派遣している。手話通訳者設置事業と本事業で1,821件の実績がある。

#### 【 登録通訳者派遣内訳 】

	【分類】	【派遣件数】
登録通訳者 24名 (手話通訳士 1名) (手話通訳者 19名) (手話奉仕員 4名)	行政	264
	医療	512
	労働	2
	文化	302
	教育	30
	警察	4
	その他	93
	合計	1,207

#### 《成果と課題》

本年度の派遣件数は1,207件と昨年度の1,017件から190件増加した。本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響による派遣調整が昨年度ほどなかったためである。

本年度から、しらすぎ会館地域活動支援センター講座へ参加する際の派遣申請が個人申請から地域活動支援センターからの申請へ変更され、主催者負担での派遣となった。

また、新型コロナウイルスワクチン接種時の通訳申請もあった。集団接種は山口市からの主催者負担として派遣した。

派遣のうち、最も多かったのが「医療」(通院や訪問看護)、次に「文化」(地域活動支援センターの講座等)であった。本市で派遣が難しく、山口県聴覚障害者福祉協会へ斡旋派遣を1件依頼した。

登録者研修会は3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策で2回のみ開催となった。また、密を避けるために要約筆記との合同研修会は行わなかった。

1回目は医療場面での「模擬通訳」の研修をした。医療場面の通訳が多いため、課題や注意点を共有し、実践に活かせる研修ができた。2回目は「読み取り通訳」の研修をし、山口市のろう者の手話を読み取り、技術の

向上に努めた。あわせて、登録通訳者からの意見も聴き、よりよい事業運営になるよう協議していく。

登録試験では3名が合格し、次年度から登録通訳者となる。その一方で、高齢や家庭の事情で登録辞退が2名、活動件数を減らす希望1名の申し出を受けた。登録通訳者の年齢層が高いことも考慮すると、次世代の登録通訳者を増やすこと、後継者育成が引き続きの課題である。

今後も、適正で円滑なコーディネートを心がけ、登録通訳者とも連携をもち、よりよい意思疎通支援ができるように努めたい。

#### ④ 要約筆記者派遣事業

登録通訳者は21名。登録人数は減ったが、新規登録者もあり、実働人数に大きな変化はない。事業実施には登録者の確保が必須であり、体験講座等の開催も積極的に検討していきたい。

新型コロナウイルスの影響は続いている。9月は集中対策期間により、地域活動支援センターの講座が中止となったり、年末年始には家族の帰省等で通訳を辞退があつたりする例があつた。コロナ関連では気の許せない1年となつたが、利用者・通訳者双方の協力を得て、感染者を出さずに済んだのは幸いだつた。

#### 【派遣内訳】

【派遣内訳】	【件数】
行政	8
医療	65
労働	3
文化	190
教育	0
その他	10
合計	276

#### 【しらすぎ会館事業及び活動状況】

事業名	開設日数・延べ人数	年間合計
地域活動支援センターⅡ型事業	開設日数	198日
	利用者延べ人数	2,407人
手話通訳者設置事業	通訳延べ人数	614人
手話通訳者等派遣事業	派遣延べ人数	1,207人
要約筆記者派遣事業	派遣延べ人数	448人

#### 《成果と課題》

派遣件数は、276件(うち、常勤通訳者の対応件数が64件)。

主催者負担も、行事が中止になる一方で、成人式は昨年度の延期分とで同年度で2回開催になる等、新型コロナウイルスの影響は続いた。

登録者研修は、3回実施した。すべてオンラインで、県外講師の指導を受けた。コロナ禍において、注目の分野を学ぶことができた。オンラインでの制約はあるものの、旅費が発生しないことは大きなメリットで、全国の動静を登録者で学ぶ機会を得たことは大きな意味があつた。

1回目は、個人宅からウェビナーを受講。遠隔要約筆記の機能を学んだ。

2回目は、1回目の研修をさらに実践的に進めるための内容を依頼した。遠隔要約筆記はコロナ禍で注目されており、受講者の関心・意欲も高く、多くの参加を得た。

3回目は、全国の難聴者団体が主催するウェビナーで、要約筆記の動向を厚労省、当事者団体、支援者団

体から聞くことができた。

令和4年から遠隔要約筆記が実施要綱に記載された。その有効性を利用者に伝え、スムーズな利用に向け丁寧な説明を行っていくことが必要である。さらには、現在利用していない難聴者の利用に向け、啓発も必要になる。

## 2) 障害者福祉作業所の運営

### ① かがやき

#### 1) 運営

本年度4月に特別支援学校の卒業生1名が入所した。その後5月、6月にそれぞれ1名が体調不良により退所したため、現在は登録者数8名となっている。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適性、障がいの特性を踏まえて作成した個別支援計画に基づきサービス提供に努めた。今後とも適正かつ健全な運営に努め、日々の作業活動において一人ひとりの特性能力を活かし、自分らしく働けるよう支援する。

#### 2) 作業内容

作業科目	受注先	内 容
瓦留めクリップ等の組立て	オノダネイル	瓦留め耐風クリップ、ラク枠、デッキロック等の組立て、箱詰め
紙製品の封入	石見紙工業	ルーズリーフ、クリアブック等の封入、封緘梱包
印刷物の封入	介護労働安定センター マルニ	チラシ、案内状等の封入、封緘、タックシール貼り、仕分け
シール貼り	田辺海苔店	海苔袋のシール貼り
しらすぎ会館の清掃	山口市社協	しらすぎ会館の清掃作業(毎日)
ポスティング	地域情報新聞	地域情報誌「ほっぷ」のポスティング(週1回)
アユスの清掃	老人保健施設ア ユス	老人保健施設アユスの清掃作業(毎週火・水曜日)

#### 3) 行事等

開催日	内 容
6月25日(金)	保健講座(熱中症とコロナ対策について)
8月26日(木)	避難訓練(地震)
10月13日(水)～26日(火)	現場体験実習受入れ(山口総合支援学校)
10月22日(金)	AED講習会
10月27日(水)	感染症予防講習会(南部支所衛生委員会主催)
11月4日(木)～17日(水)	現場体験実習受入れ(山大附属特別支援学校)
12月16日(木)	保健講座(インフルエンザについて)
12月28日(火)	大掃除・茶話会
令和4年 2月1日(火)～14日(月)	現場体験実習受入れ(山大附属特別支援学校)
令和4年 3月2日(水)	避難訓練(火災)

#### 4) 研修等 なし

#### 5) 利用状況

年間開所日数	240日(月平均20日)
延べ通所者数	1,772名(月平均148名)

1日平均利用者数	7.4名
年間工賃支払総額	2,593,032円
平均工賃(月額)	26,549円(時給281円)

## 《成果と課題》

本年度の総収入は昨年度とほぼ同額となった。コロナ禍の影響で、主軸であるオノダネイルが低迷する中、清掃作業の安定した収入と、封入・封緘作業の増加がその要因である。また、総収入はほぼ同額だが、利用者が減少した分、平均工賃は3千円程度上がった。

来年度4月には利用者1名が入所する予定なので、増収を目指し新たな作業の開拓が課題である。

## ②希望の館

### 1)運営

体調不良で長期欠席者が10月に退所し、利用者が6名になった。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適正、障がいの特性等を踏まえて作成した個別支援計画に基づいたサービス提供に努め、利用者個々の人格を尊重しながら、利用者の立場に立ち支援をする。

### 2)作業内容

作業科目	受注先	内 容
山口市阿知須体育センター清掃	山口市	体育館の清掃作業(週3回)
阿知須地域交流センター周辺の除草	山口市	除草作業(5月21日～6月末)
阿知須総合支所周辺の除草	山口市	除草作業(9月末～10月末)
山口市公衆トイレ清掃	山口市	トイレの清掃作業(週1回)
小郡幡部邸の除草	山口市社協	除草作業(9月上旬～9月末)
健康福祉センター「おげんきかん」清掃	山口市社協	おげんきかんの清掃作業(週2回)
自動車部品等形成	モルテン大津	ゴム製部品のバリとり作業
ゴム製品の検品・梱包	王子ゴム化成	製品の梱包・資材の検品作業
釘の検品、袋詰め	オノダネイル	釘の袋詰め作業

### 3)行事等

開催日	内 容
6月24日(木)	避難訓練(火災) 阿知須出張所と合同
6月30日(水)	レクリエーション(ときわ公園)
8月5日(木)	社会見学(山口県庁・県警本部)
8月19日(木)	「かがやき」との交流
8月26日(木)	レクリエーション(瑠璃光寺)
9月2日(木)	レクリエーション(道の駅きららあじす)
9月9日(木)	避難訓練(風水害)
1名10月13日(水)～10月26日(火)	現場体験実習受入れ(山口総合支援学校)
10月27日(水)	感染症予防講習会(南部支所衛生委員会主催)
11月9日(火)	レクリエーション(きらら浜自然観察公園)
12月22日(水)	大掃除・お楽しみ会(忘年会)
令和4年 2月10日(木)	避難訓練(地震)

### 4)研修等 なし

## 5) 利用状況

年間開所日数	239日(月平均20日)
年間利用者延べ人数	1,332名(月平均111名)
1日平均利用者数	5.6名
年間工賃支払総額	1,694,238円
平均月額工賃(一人)	25,333(時給 254円)

### 《成果と課題》

本年度はコロナ禍の影響でモルテン大津からの作業が激減した。一方、阿知須地域交流センター周辺(5月)・小郡幡部邸(9月)・阿知須総合支所周辺(10月)の草取り作業、10月からオノダネイルの作業で一定の収入を得ることができた。

特別支援学校への訪問はできなかったが、現場体験実習生1名を受入れた。これからも現場体験実習生を積極的に受け入れ、利用者の確保に繋げていく。

また、新たな利用者の確保のため、送迎を含めた運営の在り方を検討する。今後も継続的な受注の確保、作業の効率化を図るとともに、利用者にあった作業と適切かつ効果的なサービス提供を行っていく。

### ③地域活動支援センターⅢ型「アカシア工房」 \* 受託事業

1) 事業内容: 身体・精神・知的障がいの方などを対象に、就労の場や手芸品等の作製を通じて社会参加を促す。

2) 開設日: 延べ 237日

3) 利用者: 延べ 1,851人

4) 実利用者: 12人【登録者: 12名】(令和4年3月31日現在)

5) 作業内容: 石見紙工業からの軽作業及び山口市からの清掃作業などによる就労の場の提供と、作業の合間には手芸品等を作製して社会参加につながる作業を行う。

6) 作業以外の行事 : 次のとおり

月	日	曜日	行事内容
5	14	金	アカシア工房家族会総会 書面議決(家族会)
12	22	水	デイケア クリスマス会参加
令和4年1月	14	金	身体障害者共助会輪投げ大会に参加
3	24	木	避難訓練(火災)
3	30	水	お楽しみ会

### 《成果と課題》

令和3年度は新しく1名が入所し、12名のスタートとなるが、6月に家庭の事情で1名退所したが、9月から1名入所して12名となる。

コロナ禍で受注の不安定を懸念したが、企業より例年と同様の仕事が受注できた。受注内容の違いで作業工賃に増減はあるが安定した支払いにつながった。

石見紙工業の製品に対して、作業の常態化から不良製品が出ないように、指導員が気をつけて声掛けを行った。

山口市阿東保健センター清掃業務を市から委託され、作業生は担当場所をきれいにきちんと清掃するよう指導した。

作業の合間にはバザー用品を製作し、自分の作った製品を販売する社会参加の機会を設けていたが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策で行事が中止になったため、アカシア工房入口前に常時展示し販売を行った。

### 3) 障がい者の居宅介護支援事業の実施

	サービス内容					
	延べ利用者数	身体介護	家事援助	通院介助	同行援護	重度訪問介護
阿東	73人	158時間	572.5時間	0時間	196.5時間	0時間
南部	119人	149時間	850.75時間	13時間	79.0時間	0時間
合計	185人	307時間	1,423.25時間	13時間	275.5時間	0時間

#### 《成果と課題》

昨年度と比較し、全体的に延べ利用者数は減少したものの、サービス提供時間は増加した。支給量の増加や、回数の変更等がみられたことが時間の増加につながっていたと考えられる。南部訪問介護では登録訪問介護員の高齢化により、重度訪問介護や身体介護の支援が難しくなっており、人員の確保が課題である。今後も利用者から選ばれる事業所として努力する。

### 重点事業Ⅱ

#### 「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進(平成30年度～令和4年度)及び「第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の策定

##### 1 第3次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画会議の開催

###### 【基盤強化計画会議】

回	開催日	協議内容
第1回	7月27日(火)	○確認事項 1. 令和2年度第3回(令和3年1月19日)基盤強化計画会議の振り返り 2. 令和3年度基盤強化計画の作成の確認について ○協議事項 1. 第3次基盤強化計画の策定スケジュールについて 2. 第3次基盤強化計画の基本方針(部門・基本項目など)について 3. 第3次基盤強化計画策定の部門担当者について 4. 必須の協議事項の確認について
第2回	令和4年 1月24日(月)	○報告事項 1. 事務局長・課長会議で協議した内容について 2. 部門担当者会議の協議内容について 3. 市区町村社協経営指針との整合性について ○協議事項 1. 第3次基盤強化計画のベース(案)について 2. 今後のスケジュールについて

回	開催日	協議内容
---	-----	------

【事務局長・課長会議】

回	開催日	協議内容
第1回	7月15日(木)	・第1回基盤強化活動計画会議の協議内容確認
第2回	8月17日(火)	・第3次基盤強化計画の部ベース(部門・基本計画)〈案〉について ・今後の進め方について
第3回	9月16日(木)	・第3次基盤強化計画ベース(部門・基本計画)〈案〉について ・計画書の様式について
第4回	10月14日(木)	・部門別担当者会議の進め方について ・第3次基盤強化計画ベース(部門・基本計画)〈案〉について
第5回	11月15日(月)	・部門別担当者会議の進め方について ・第3次基盤強化計画ベース(部門・基本計画)〈案〉について
第6回	12月23日(木)	・部門別担当者会議の進捗状況報告 ・今後のスケジュールについて
第7回	令和4年 1月13日(木)	・部門別担当者会議の進捗状況報告
第8回	2月14日(月)	・第3次基盤強化計画ベース(部門・基本計画)〈案〉について
第9回	3月14日(月)	・第3次基盤強化計画ベース(部門・基本計画)〈案〉について

【部門担当者会議】

回	開催日	協議内容
第1回	11月15日(月)	○部門担当者全体会議 1. 第3次基盤強化計画部門担当者について 2. 第3次基盤強化計画策定スケジュールについて 3. 第2次基盤強化計画の進捗状況について 4. 令和3年度第1回基盤強化計画会議及び事務局長・課長会議の協議内容報告について 5. 第3次基盤強化計画ベース〈部門・基本目標・実施項目等〉(案)について 〈協議事項〉 1. 部門担当者会議の役割について 2. 取組項目について 3. 部門別担当者会議のすすめ方について
第2回	12月7日(火)	1. 組織強化と効率的な組織運営部門及び人材の確保・育成部門のベース(案)について協議 2. 取組目標1～3, 5～7について現状・課題・具体的対策を協議
第3回	12月9日(木)	・安定的な財政運営部門のベース(案)について協議
第4回	12月23日(木)	1. 安定的な財政運営部門のベース(案)について協議 2. 取組目標1～3, 5～7について現状・課題・具体的対策を協議
第5回	令和4年 1月11日(火)	・取組目標8～19について現状・課題・具体的対策を協議
第6回	1月12日(水)	・取組目標23～29について現状・課題・具体的対策を協議
第7回	1月28日(金)	・取組目標30～35について現状・課題・具体的対策を協議
第8回	2月1日(火)	1. 取組目標4について現状・課題・具体的対策を協議 2. 具体的対策の実施年度の調整

回	開催日	協議内容
第9回	2月15日(火)	・具体的対策の実施年度の調整
第10回	3月1日(火)	・具体的対策の実施年度の調整
第11回	3月3日(木)	○部門担当者会議全体会 1. 具体的対策の見直し及び実施年度の調整 2. 理事会・評議員会での説明内容について 3. 今後のスケジュールについて

## 《成果と課題》

基盤強化計画会議では、今年度の推進方法及び第3次計画の策定について協議を行った。

新型コロナウイルス感染症のため、社会状況が大きく変化したため、第3次基盤強化計画を1年前倒しで策定することにし取り組んだ。

方法としては、主に管理職で、現計画(第2次基盤強化計画)の精査の中で、現計画で実行できなかった課題や新たに取り組むべき項目を洗い出し、第3次基盤強化計画のベース<部門・基本目標・実施項目>(案)まで協議することができた。

第3次基盤強化計画においても、3部門(組織強化と効率的な組織運営部門、人材の確保・育成部門、安定的な財政運営部門)ごとの課題の確認や取り組むべき課題の進捗状況を確認し、優先順位の高い項目からの推進を図る。

## 主要事業

### 1 自律した法人運営と「働き方改革」の推進

#### (1) 就業関連規程に基づいた「働き方改革」の推進

- ① 雇用形態別(正規・継続・嘱託・臨時)に責任の重さを周知し実行
- ② 正規職員への転換(正規職員採用試験)を周知
- ③ 就業管理システムによる勤怠管理の導入
- ④ 新型コロナウイルス感染症に伴う病気休暇及び学校における臨時休業期間の特別休暇の整備(特例措置)
- ⑤ 均等待遇に位置づけられる通勤手当の改善
- ⑥ 健康診断に要する時間を職務専念義務免除する労働時間として位置づけ
- ⑦ 放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程を整備 など

#### (2) 組織基盤の整備

##### 1) 住民会員(一般会員)会費の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	山口地域 (500円)	小郡地域 (500円)	秋穂地域 (500円)	阿知須地域 (500円)	徳地地域 (500円)	阿東地域 (500円)
会員数	46,163	5,064	2,118	3,365	2,010	2,053
金額(円)	23,082,000	2,532,195	1,059,000	1,682,500	1,005,000	1,026,800
合 計(円)					30,387,495	

※前年度比 171,905円減

## 2) 住民会員(一般会員)会費以外〔市内統一〕の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	特別会員会費 (1,000円)	組織会員 (団体会員)会費 (3,000円)	組織会員 (施設会員)会費 (7,000円)	賛助会員会費 (5,000円)
件数	69	79	51	212
金額(円)	917,000	246,000	371,000	1,356,000
合計(円)				2,890,000

※前年度比 37,000円減

### ○新たな事業所等に対する賛助会員会費の増強・拡大

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、訪問による新規事業所開拓を積極的には行わなかった。例年どおり、本会職員が関わりのある事業所に対して、賛助会員への加入をお願いした。

## 3) 善意銀行の周知と適正な配分実施

寄附項目	一般寄附	香典返し	資産積立	合計
件数(件)	97	306	2	405
金額(円)	3,394,277	16,798,000	6,800	20,199,077

※前年度比 697,838円減

## (3) 法人の運営

### 1) 理事会、評議員会の開催

開催日(会議名)	内容
6月9日(水) (第1回理事会)	報告第1号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について 報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 令和2年度 事業報告について 議案第2号 令和2年度 収支決算報告について 議案第3号 経理規程の一部改正(案)について 議案第4号 令和3年度 資金収支第一次補正予算(案)について 議案第5号 第1回評議員選任・解任委員会の開催について 議案第6号 残任期間に伴う評議員選任・解任委員会委員候補者の選任(案)について 議案第7号 任期満了に伴う評議員選任・解任委員会委員候補者の選任(案)について 議案第8号 第1回評議員選任・解任委員会に提出する評議員の選任候補者の推薦(案)について 議案第9号 定時評議員会の開催について 議案第10号 任期満了に伴う理事候補者の提案について 議案第11号 就業関連規程の一部改正(案)について

開催日(会議名)	内 容
6月28日(月) (定時評議員会)	(提出議案) 議案第1号 令和2年度 事業報告について 議案第2号 令和2年度 収支決算報告について 議案第3号 令和3年度 資金収支第一次補正予算(案)について 議案第4号 任期満了に伴う役員候補者の選任(案)について
6月30日(水) (第2回理事会)	(提出議案) 議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議案第2号 会長が欠けたとき等の理事会を招集する副会長の選任について
12月17日(金) (第3回理事会)	報告第1号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について 報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 給与規程の一部改正(案)について 議案第2号 就業関連規程の一部改正(案)について ・就業規程 ・嘱託職員就業規程 ・臨時職員就業規程 ・登録訪問介護員就業規程 ・生活支援員就業規程 ・放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程 議案第3号 チェアキャブ利用及び管理規程の一部改正(案)について 議案第4号 事業廃止に伴う不執行規程を廃止する規程の制定(案)について ・高額療養費つなぎ資金貸付規程 ・同行援護事業運営規程【阿知須訪問介護事業所】 議案第5号 電子取引データの改正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定(案)について 議案第6号 経理規程の一部改正(案)について
令和4年 3月15日(火) (第4回理事会)	報告第1号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 令和3年度 資金収支第二次補正予算(案)について 議案第2号 あとう指定訪問看護ステーション居宅療養管理指導関連規程を廃止する規程の制定(案)について 議案第3号 山口市川西地域包括支援センター指定介護予防支援事業運営規程の一部改正(案)について 議案第4号 山口市川西第2地域包括支援センター指定介護予防支援事業運営規程の制定(案)について 議案第5号 経理規程の一部改正(案)について 議案第6号 給与規程の一部改正(案)について 議案第7号 「役員等損害賠償責任保険」契約の締結について 議案第8号 令和4年度 事業計画(案)について

開催日(会議名)	内 容
令和4年 3月15日(火) (第4回理事会)	議案第9号 令和4年度 資金収支予算(案)について 議案第10号 公印規程の一部改正(案)について 議案第11号 表彰規程の一部改正(案)について 議案第12号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正(案)について 議案第13号 就業関連規程の一部改正(案)について ・就業規程 ・嘱託職員就業規程 ・臨時職員就業規程 ・登録訪問介護員就業規程 ・登録生活支援員就業規程 ・放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程 議案第14号 第2回評議員選任・解任委員会の開催について 議案第15号 第2回評議員選任・解任委員会に提出する評議員の選任候補者の推薦(案)について 議案第16号 第2回評議員会の開催について 議案第17号 理事候補者の提案について 議案第18号 役員等の報酬に関する規程の一部改正(案)について
令和4年 3月23日(水) (第2回評議員会)	(提出議案) 議案第1号 令和3年度 資金収支第二次補正予算(案)について 議案第2号 山口市川西地域包括支援センター指定介護予防支援事業運営規程の一部改正(案)について 議案第3号 山口市川西第2地域包括支援センター指定介護予防支援事業運営規程の制定(案)について 議案第4号 令和4年度 事業計画(案)について 議案第5号 令和4年度 資金収支予算(案)について 議案第6号 表彰規程の一部改正(案)について 議案第7号 チェアキャブ利用及び管理規程の一部改正(案)について 議案第8号 理事の選任(案)について 議案第9号 役員等報酬に関する規程の一部改正(案)について

## 2) 監査の実施

開催日	内 容
5月18日(火)	令和2年度 監査(財務監査・事業監査)

## 3) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
6月28日(月) (第1回評議員選任・解任委員会)	議案第1号 任期満了に伴う評議員の選任(案)について
令和4年 3月16日(水) (第2回評議員選任・解任委員会)	議案第1号 評議員の選任(案)について

## (4) 運営体制の強化

### 1) 月例会議の開催

本会事務事業の円滑な推進に向けた調整・協議・連絡事項を内容とした会議を開催した。

○年間開催回数 11回(月1回開催 8月を除く。)

### 2) 事業調整会議の開催

各事業について市内全域を対象に推進するため、下表のとおり事業調整会議を開催した。

なお、毎回、地区福祉員協議会、地区民児協定例会に出席する際の情報提供資料の確認を行った。また、毎回生活支援コーディネーターに関する報告も行った。昨年度同様に本会議とは別に小グループで課題を協議する場(コア会議)を設け、山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画の取り組みとリンクさせて協議した。なお、この調整会議で小グループ(コア会議)の協議結果を報告し、共通認識を図った。

○年間開催回数 12回(月1回)

開催日	協議内容
4月26日(月)	・事務分掌等について ・各事業の伝達と依頼等
5月28日(金)	・地区社協連・マイクロバス運行事業等について ・各事業の伝達と依頼等
6月29日(火)	・民児協ブロック研修会・災害ボランティア研修等について ・各事業の伝達と依頼等
7月29日(木)	・福祉機器リサイクル事業・有償在宅福祉サービス・社会福祉法人地域公益活動推進協議会等について ・各事業の伝達と依頼等
9月2日(木)	・フードパントリー・有償在宅福祉サービス等について ・各事業の伝達と依頼等
9月24日(金)	・ふれあいいいききサロン・歳末たすけあい募金事業・ボランティア等について ・各事業の伝達と依頼等
10月27日(水)	・生活支援コーディネーター・チェアキャブ等について ・各事業の伝達と依頼等
11月25日(木)	・引きこもり研修会等について ・各事業の伝達と依頼等
12月24日(金)	・福祉教育について・地域福祉活動計画等について ・各事業の伝達と依頼等
令和4年 1月31日(月)	・福祉機器リサイクル事業・有償在宅福祉サービス等について ・各事業の伝達と依頼等
2月21日(月)	・ふれあいのネットワークづくり運動・ボランティア活動保険及び行事用保険等について ・各事業の伝達と依頼等
3月24日(木)	・来年度の各事業等について ・各事業の伝達と依頼等

### 《成果と課題》

事業の内容確認や調整の他、情報の共有や職員の意識統一が図れた。地域福祉課の実施事業は多く、

解決すべき課題もコロナ禍の中多々あり、小グループ(コア会議)を活用し、課題解決を図っていきたい。

## (5) 共同募金運動への協力

### 1) 一般募金(目標額:32,060,000円)

(単位:円)

募金種別	令和3年度実績	令和2年度実績	前年度比
戸別募金	22,906,111	22,852,977	53,134
法人募金	2,611,880	2,586,864	25,016
募金百貨店	366,860	385,534	△18,674
職域募金	1,745,513	1,687,884	57,629
街頭募金	132,836	127,068	5,768
興行募金	186,381	249,026	△62,645
その他	2,002,942	2,040,913	△37,971
合計	29,952,523	29,930,266	22,257

### 2) 歳末たすけあい募金(目標額:12,000,000円)

(単位:円)

募金種別	令和3年度実績	令和2年度実績	前年度比
戸別募金	10,531,631	10,578,174	△46,543
学校募金	296,906	331,056	△34,150
その他の募金	557,097	613,131	△56,034
合計	11,385,634	11,522,361	△136,727

### 3) 災害義援金

○実績額: 80,000円

### 4) 行事の内容

開催日	内容	備考
4月13日(火)	山口市共同募金委員会監事会	監事3名 事務局
6月1日(火) ~7月15日(木)	募金箱イラストコンテスト作品募集 応募作品 103点	赤い羽根賞 1点 アピール賞 4点 アイデア賞 4点
6月15日(火)	山口市共同募金委員会運営委員会	運営委員9名 監事1名 事務局
7月21日(水)	山口市共同募金委員会審査委員会	共同募金及び歳末たすけあい募金配分決定
8月3日(火)	山口市共同募金委員会推進委員会	推進委員39名 事務局
10月1日(金)	共同募金開始行事、街頭募金	山口井筒屋
10月16・23日(土)	街頭募金、街頭宣伝	中市アーケード内
10月~12月	法人、職域募金	山口市内全域
11月13日(土)	チャリティーゴルフ大会	湯田カントリークラブ 参加者58名
令和4年 2月24日(木)	山口市共同募金委員会審査委員会	令和3年度歳末たすけあい配分報告 令和4年度共同募金配分計画

## 《成果と課題》

年々募金実績が減少していく中、一般募金では、昨年度を上回る実績となった。

今年度も、コロナ禍での募金運動を模索しながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を図ることで、各種会議、開会行事、街頭募金を行うことができた。また、新たに募金箱イラストコンテストを実施し、小学生から高校生まで幅広く共同募金に参加できる取り組みを行い、103点の応募があった。

配分事業においては、共同募金の目的に沿った用途となるよう本会内で担当者会議を開催し、事業の再考を図るとともに、予算編成会議においても、共同募金を財源とする事業の見直しについての協議を行った。

福祉に対する課題が多様化する中で、地域の課題解決のための配分事業を計画し、コロナ禍でもできる募金活動やHPを活用した効果的な広報等を改めて考える必要がある。

## (6) 福祉サービス事業に関する苦情解決の取り組み

### ○苦情の受付状況

サービス内容	件数	サービス内容	件数
社協法人運営(住民会員会費)		放課後児童クラブ運営	
組織改編		有償在宅福祉サービス	
福祉資金等貸付・交付		介護機器等貸出事業	
地域福祉権利擁護事業	1	チェアキャブ貸出事業	
社協施設の利用		移送サービス	
介護保険サービス(相談)		共同募金・歳末たすけあい募金	2
介護保険サービス(訪問)	3	社協ホームページ	
介護予防事業関連		社協だより記載ミス・記載漏れ	2
介護保険施設との行き違い		給与・労務事務	
障害福祉サービス(相談)		職員のモラル(SNS)	
障害福祉サービス(訪問)		職員対応・態度	6
障害福祉サービス(通所)		職員の交通マナー	1
民生委員・児童委員活動		個人情報取り扱い	1
福祉員活動		本所の施設管理	1
		合計	17

### ○福祉サービス苦情受付担当者研修会

令和4年1月19日(水)開催予定であったが、コロナウイルスの感染拡大防止のため中止。

## 《成果と課題》

福祉サービス事業に関する苦情解決体制は、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の委嘱により体制を整えている。本年度の苦情等の申し出は、昨年度と比較し多少減少し、17件であった。

苦情の内容は、職員の対応・態度に対するものが6件と最も多く、次が訪問介護事業の3件、共同募金が2件、社協だよりに関するものが2件となっている。ただ、職員の対応・態度に対するものは同じ職員への苦情であった。

苦情は、初期時の適切な対応が大切であると同時に、個人のプライバシーに関する情報管理についても改めて徹底が必要である。今年度は職員対応に関するものが多く、改めて、計画的に職員への教育を行う必要がある。

## (7) 関係機関等との渉外・その他調整等

### 1) 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会第59期(令和3年度)定期総会及び研修会

中国・四国地域には昭和38年に中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会が結成されている。今年度から2年間、島根県松江市社会福祉協議会が事務局引き受けとなった。今年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないこと等を踏まえ以下の事業が執行された。

#### 運営委員会

- 開催日 10月6日(水)
- 方法 オンライン会議
- 参加者 会長－1名、運営委員－5名、監事－2名、事務局－3名  
※山口市社会福祉協議会事務局長が運営委員として参加。

#### 定期総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定期総会は書面議決で実施。

#### 研修会

- 開催日 令和4年1月31日(月)
- 方法 オンライン研修
- 内容 【講演会】重層的支援体制整備事業について考える  
～今、社会福祉協議会に求められるものとは～  
【講師】日本福祉大学社会福祉学部 教授 原田正樹氏  
【情報交換】コロナ禍における社協活動の課題と工夫
- 本会参加者 5名

### 2) ソーシャルワーク実習等の引受

福祉現場の実習等については、山口県内の大学(福祉学部)及び福祉職をめざす山口市出身者、福祉事務所等からの相談・依頼を受けて、本会としてソーシャルワーク実習Ⅱ等を積極的に引受け、人材育成に努めた。

学校名	実習人員	実習期間	実習受入部署
九州保健福祉大学 通信教育部社会福祉学部 臨床福祉学科	1名	8月16日(月)～9月16日 (木)[内24日間]	山口市社会福祉協議会 本所兼北部支所
山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	3名	8月16日(月)～9月6日(月) [内15日間]	
山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	1名	8月16日(月)～9月6日(月) [内15日間]	山口市川西地域包括支 援センター

## 2 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化

### (1) 予算編成会議の開催

回	開催日	協議内容
第1回	10月13日(水)	○協議事項 1. 委託・補助・指定管理事業の予算要望の確認について 2. 自主財源の伴う各事業の新年度予算(経費削減)状況について 3. その他予算編成に向けての確認について
第2回	11月4日(木)	○協議事項 1. 予算要望提出事業の状況について 2. 自主財源の伴う各事業の新年度予算経費削減状況について (シミュレーション) 3. 今後のスケジュールの確認について
第3回	12月13日(月)	1. 補助・受託事業の予算編成について 2. 会費・寄附金収入の決算見込み状況について 3. 経費削減案について
第4回	令和4年 1月7日(金)	○協議事項 1. 予算編成状況について 2. 決算見込みの状況について 3. 令和4年度予算の組み立てについて
第5回	2月1日(火)	○協議事項 1. 予算編成状況について 2. 決算見込みの状況について

#### 《成果と課題》

山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画の中の財源確保部門の一環として、予算削減に努め、適切な事業配分にするため、5回にわたり管理職及び予算管理責任者で予算編成会議を行った。

例年の事であるが、予算削減を進めるためには、委託・補助・指定管理事業及び自主財源事業の見直しを行いながら、事業の精査の検討も行った。

特に、車両維持管理経費については、保有台数が多く、多額の費用がかかっているため、車両活用検討会議を開催し、適切な車両配置について協議を行った。

## 3 社協の経営理念に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり

### (1) 職員研修会の開催

回数	開催日	内容	講師	対象者及び実施方法
----	-----	----	----	-----------

第1回	10月21日(木)	・山口市社会福祉協議会の組織・事業等と地域福祉を進める上での指針について ・職員の役割と責任について ・文書及び起案書の記入の仕方について	・角野事務局長  ・松村次長 ・山崎主幹	全職員 リモートで実施 ※当日参加が困難であった職員は、後日録画を視聴。
第2回	令和4年 2月4日(金)	・接遇(表情・傾聴・話し方等)について	・有限会社ケイ・アンド・ワイ 杉山 裕子氏	全職員 リモートで実施 ※当日参加が困難であった職員は、後日録画を視聴 当日のワークシートを後日所属長経由で提出。

### 《成果と課題》

全職員を対象にした職員研修会を毎年、定例で行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、リモート形式での実施とした。当日、業務の都合で参加できない職員のために、録画しを行い、後日視聴できるようにした。

内容については、事前に研修委員会で協議を行い、第1回目は本会職員として勤務する上で、必ず把握しておかないといけない内容とし、第2回目は社会人として最低限必要なマナーについての研修を改めて行った。

今回は2回ともリモートであったため、遠方の職員は参加しやすく、また、録画ができたため、業務が忙しくタイムリーで受講できない職員も、都合がつくときに視聴できたが、皆の表情が見えづらく、また、その場で質問がしにくいなどの課題もあった。

## 関連事業

### 1 広報・啓発活動の充実・強化

#### (1) 社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式の開催

○開催日 10月5日(火)午後1時30分～2時30分

○会場 山口県総合保健会館 第1研修室

○参加者 41名(内被表彰者37名・感謝状贈呈者2名)

○内容

表彰 本会表彰規程に基づき、社会福祉事業関係功労者等の表彰を行い、その功績を讃えた。

部門	個人	団体
被表彰者	47名	10団体
感謝状贈呈者	6名	2団体

記念講演 新型コロナウイルス感染防止のため、記念講演は中止した。

### 《成果と課題》

今年度も昨年度に引き続き、被表彰者・感謝状贈呈者を対象に「社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式」を開催し、その功績を讃えた。今年度も記念講演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、表彰式のみ行った。表彰者件数は57件(個人・団体)、感謝状贈呈者は8件(活動者・寄付者)であった。

閉会後は、被表彰者と感謝状贈呈者を部門ごとに写真撮影を行い、本会のホームページで紹介した。

2年続けて記念講演は中止となったが、次年度以降も社会状況を鑑み、また、幅広く意見を聞きながら、時代に合った形を考えたい。

## (2) 機関紙「山口市社協だより(こちら社協です)」の発行

○事業内容:年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行し、各戸及び関係機関へ配付した。

本会事業や福祉団体の活動紹介、福祉サービスの情報を掲載し、市民から親しまれる紙面づくりに努力した。また、3回は表紙・裏表紙カラー刷りとなっている。

発行月	発行部数	発行回数(頁)	配布先
4・6・8・10・12・2月	各75, 100部	6回(8頁)	各戸、関係機関

### 《成果と課題》

今年度も年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行した。本年度から経費削減のため頁数を12頁から8頁に減らしたため、掲載記事を広報委員会でしっかりと厳選し、また、掲載しきれない内容については、ホームページで紹介するなど、広報活動を工夫した。

さらに、関係機関には郵送でお届けしていたが、発送の意向を確認するアンケートを実施し、発送を希望する48の関係機関は継続し、発送を希望しない又は、無回答の関係機関には郵送を終了することにした。

## 2 福祉団体への支援・協力

### (1) 山口市ボランティア連絡協議会の運営

今年度も、役員会とボランティア相互の連携を深めるため視察研修や交流会を行った。

開催日	内 容	会 場	参加者数
4月15日(木)	令和3年度 山口市ボランティア連絡協議会総会	山口県総合保健会館 第1研修室	82団体 個人8名
5月17日(月)	第1回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
7月19日(月)	第2回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	14名
10月1日(金)	赤い羽根共同募金オープニング行事	井筒屋前	1名
10月8日(金)	第3回 山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
10月16日 (土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動①	山口市中市商店街	17名
10月23日 (土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動②	山口市中市商店街	13名
11月16日 (火)	山口市ボランティア連絡協議会交流会	山口県総合保健会館 多目的ホール	62名

開催日	内 容	会 場	参加者数
令和4年 1月18日(火)	第4回山口市ボランティア連絡協議会 役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
2月7日(月)	山口県ボランティア交流大会	オンライン (個人参加・南部支所・ 徳地・阿東出張所)	山口市11名 全体 (183名)
2月14日(月)	山口市ボランティア連絡協議会研修会 ひきこもり一般公開講座	セントコア山口 オンライン (徳地・阿東出張所・ 一般参加)	全体 36名 会員 33名 一般 3名
3月25日(金)	第5回山口市ボランティア連絡協議会 役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
随時	山口市ボランティア連絡協議会支援事 業 (メニュー事業)	1件	—
中止	山口市健康づくりふれあい大会(協力)	—	
中止	山口市ふれあいレク大会	—	

### 《成果と課題》

一本化した山口市ボランティア連絡協議会の運営は7年目に入った。

11月に開催した交流会では加入グループである「山口の朗読屋さん」と「山口盲ろう者友の会山口支部」から活動発表を行い、パネルの展示や実費の範囲内でグループが作られた手芸品などを販売した。

令和3年度は視察研修の年だったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、令和4年度実施予定の研修会と入れ替えて開催をした。共同募金の一般配分事業として、一般の参加を含め会場とオンラインのハイブリッド形式で講師を招き、ひきこもりを8050問題から考えることについて講演を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が減ったりできなくなったという団体の声を多数聞いた。行事を開催することでコロナ禍での活動の情報交換の場になることや、モチベーションを保つ場に繋げたい。

感染拡大防止の策を講じながら、今後も山口市ボランティア連絡協議会への加入促進、発展につながる取り組みを考え、役員の方と協議し活動の支援を行う。

## (2) 山口市民生委員児童委員協議会の運営

\* 受託事業

開催日	内 容	会場等
4月5日(月)	監事会	山口市社会福祉協議会 本所
4月8日(木)	会長・副会長会議(第1回)	山口市社会福祉協議会 本所
4月6日(火)~15日(木)	春の全国交通安全運動	7地区民児協実施
4月21日(水)	山口市民生委員児童委員協議会総会	山口県健康づくりセンター
5月5日(水)~11日(火)	児童福祉週間	
5月12日(水)~18日(火)	民生委員児童委員の日 活動強化週間	
5月16日(日)	民生委員児童委員の日 一斉取組日	

開催日	内容	会場等
5月17日(月)	高齢福祉部会研修会(第1回)1回目	山口県健康づくりセンター
5月18日(火)	高齢福祉部会研修会(第1回)2回目	山口県健康づくりセンター
6月4日(金)	常任理事会(第1回)	セントコア山口
6月17日(木)	理事会(第1回)	防長苑
6月18日(金)	児童福祉部会研修会(第1回)1回目・2回目 →5月20日(木)より延期	山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール
6月21日(月)	主任児童委員連絡会議(第1回)	山口県健康づくりセンター
6月22日(火)	地域福祉部会研修会(第1回)1回目	山口県労働者福祉文化中央会館
6月25日(金)	地域福祉部会研修会(第1回)2回目	山口県健康づくりセンター
7月1日(木)	青少年健全育成・社会を明るくする運動式典・ パレード →中止	
7月6日(火)	現任民生委員・児童委員研修会(県社協主催)	山口県セミナーパーク
7月11日(日)~20日(火)	夏の交通安全県民運動	7地区民児協実施
7月15日(木)	ブロック別研修会 南部 (陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山・ 小郡・秋穂・阿知須)	山口南総合センター
7月27日(火)	ブロック別研修会 中央部・北部 (大殿・白石・湯田・吉敷・平川・大歳) (仁保・小鯖・大内・宮野・徳地・阿東)	山口県健康づくりセンター
8月18日(水)	会長・副会長会議(第2回)	山口市社会福祉協議会 本所
8月31日(火)	交流研修会 →中止	山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール
9月21日(火)~30日(木)	秋の全国交通安全運動	9地区民児協実施
9月28日(火)	地域福祉部会研修会(第2回)1回目・2回目	山口県健康づくりセンター
9月30日(木)	主任児童委員連絡会議(第2回)	山口県健康づくりセンター
10月5日(火)	社会福祉事業功労者等表彰状・感謝状贈呈式	山口県健康づくりセンター
10月5日(火)	山口市社会福祉大会 →中止	
10月18日(月)	児童福祉部会研修会(第2回)1回目・2回目	山口県健康づくりセンター
10月20日(水)	高齢福祉部会研修会(第2回)1回目・2回目	山口県健康づくりセンター
10月22日(金)	理事会(第2回)	セントコア山口
10月22日(金)	地区会長会議(第1回)タブレット操作説明会 →9月15日(水)より延期	セントコア山口
10月26日(火)~27日(水)	第90回全国民生委員児童委員大会~京都大 会~ →不参加	オンライン形式
10月27日(水)	第71回山口県総合社会福祉大会 →中止	
11月10日(水)	山口市表彰式	山口市民会館小ホール
11月22日(月)	民生委員・児童委員活動実践講座	山口県社会福祉会館
11月29日(月)	地区民生委員児童委員協議会 会長・副会長研 修会(県社協主催)→9月7日(火)より延期	山口県健康づくりセンター
12月10日(金)~1月3日(月)	年末年始の交通安全県民運動	9地区民児協実施
12月21日(火)~1月31日(月)	全国児童委員・主任児童委員活動研修会 →不参加	オンライン形式

開催日	内容	会場等
12月23日(木)	会長・副会長会議(第3回)	山口市社会福祉協議会 本所
令和4年 1月18日(火)	中堅民生委員・児童委員研修会(県社協主催) →10月20日(水)より延期→中止	山口県健康づくりセンター オンライン形式
1月26日(水)	高齢福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
1月26日(水)	地域福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
1月28日(金)	主任児童委員連絡会議役員会	山口市社会福祉協議会 本所
2月4日(金)	児童福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会 本所
2月24日(木)	常任理事会(第2回)	コンベンションかめ福
3月18日(金)	理事会(第3回)	防長苑
○地区民児協定例会	毎月1回各地区にて実施	
○県民児協 活動強化方策推進事業	白石・陶・徳地地区民児協	
○市民児協 活動支援児協	仁保・小鯖・宮野・平川・鑄銭司・小郡・秋穂・ 阿知須地区民児協	

### 《成果と課題》

昨年度に引き続き、コロナ禍での活動となった。研修会においては、感染対策を十分に行うことで概ね予定通りの研修会を実施することができた。しかし、交流研修会においては、県外からの講師受け入れやグループワークなどを企画していたため、実施することができなかった。また、外部が企画する研修会が Zoom などを活用したオンライン研修会に代わることが多く、対応が難しいことが多々あった。

一方、今年度は各地区会長及び事務局にタブレットを配付し、情報伝達のスピーディー化を図った。現在は、事務局からの定期連絡、外部機関から依頼があった際の臨時連絡を中心に活用しているが、今後はスケジュールの共有や会議の出席確認など活用の幅を広げていきたい。

また、コロナ禍の状態は今後もしばらく続くことが予測されるため、人との関わりが欠かせない民生委員・児童委員活動をどのように進めていくかが課題となる。

### (3) 山口市介護者の会の運営

開催日	行事	内容	参加人数	会場
4月14日(水)	役員会	総会及び役員改選他について	8名	山口市社協南部支所
5月14日(金)	臨時役員会	役員改選他について	8名	山口市社協南部支所
5月21日(金)	総会	総会(書面決議) 介護講演会(中止)		
6月11日(金)	役員会	介護実践教室、茶話会他について	7名	山口市社協南部支所
6月11日(金)	介護実践教室	「在宅介護について～地域にねざす 介護実践～」(中止)		
7月30日(金)	茶話会	介護体験発表、ストレス解消の体操	21名	湯田地域交流センター
8月19日(木)	役員会	介護相談会、介護実践教室、リフレ	6名	山口市社協南部

開催日	行事	内 容	参加人数	会 場
		ツッシュ旅行他について		支所
10月 8日(金)	役員会	リフレッシュ旅行、介護講演会他について	8名	山口市社協南部支所
10月 8日(金)	介護実践教室	「介護の基本 負担の少ない介護の仕方」	会員8名 一般1名	ハートホーム小郡
10月 21日(木)	介護相談会	包括支援センター等関係機関との相談会(小郡地区) ※デルタ株集中対策期間の9月9日から変更	医療相談者 4名 福祉相談者 5名	小郡地域交流センター
11月 12日(金)	リフレッシュ旅行	笠戸島方面	24名	国民宿舎大城 下松市栽培漁業センター
12月 9日(木)	介護講演会	「高齢者医療と介護について－高齢者の社会的孤立について(ひきこもりを含む)－」	会員16名 一般3名	山口市社協南部支所
令和 4年 1月 13日(木)	役員会	令和4年度事業計画(案)について	8名	山口市社協南部支所
3月 11日(金)	役員会	令和4年度総会他について	9名	山口市社協南部支所

### 《成果と課題》

山口市介護者の会が平成27年度から一本化され、山口市全体で実施される研修会の見直しや、市内から参加しやすい場所を選定するなど、会員が参加しやすい方法を協議した。また、今までのエリアでも引き続き事業が行えるように事業調整を行うとともに、会員以外の一般の方でも参加できる研修会を開催した。

今後の運営を支援していく上で、広域であること、会員の高齢化が進んでいることなど、在宅介護をしている会員の増強や会の運営内容などが課題となる。具体的には、介護する人が気軽に行ける場所づくりや、会員同士の交流を図っていききたいと考えている。

昨年度から新規事業として、介護者と要介護者が一緒に出かけられる旅行の実施が計画されているが、新型コロナウイルス感染症により実現がされていない。今後も実施に向けて、継続的に協議していく。社会福祉法人との連携等により、安心安全に旅行ができる環境づくりも検討したい。

各事業の実施にあたり新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染拡大状況を見ながら実施した。令和3年度は4名入会があった。今後も活動の充実と会員の交流を図り、会員確保と会員福祉の増強に努めていく。

## 3 施設の管理運営

### (1) 山口市老人福祉館の運営 \* 指定管理事業

開館日数 老人福祉館262日・山口児童館263日

臨時休館 老人福祉館31日・山口児童館30日

6月 4日(金)～6月10日(木) 新型コロナウイルス感染症対策の為 6日

8月27日(金)～9月25日(土) デルタ株感染拡大防止集中対策の強化  
及び期間延長の為 24日  
12月18日(土) 館内清掃の為 (老人福祉館のみ) 1日  
※児童館は午後より開館

【山口市福祉センター(老人福祉館・山口児童館)利用状況】

	利用者(人)	月平均
老人福祉館	4,273	356
山口児童館	16,210	1,351
合計	20,483	1,707

(定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(人)	事業内容	回数/月	利用者(人)
民踊等 (3グループ)	10	552	謡曲・詩吟 (2グループ)	6	224
ダンス	4	307	囲碁・将棋 (3グループ)	6	593
人形・手芸 (2グループ)	4	149	三味線	3	112
合計					1,937

(不定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(人)	事業内容	回数/月	利用者(人)
フラダンス	2	95	オカリナ	2	80
日本画	1	25	編み物 ※12月に解散	1	26
朗読	4	338	合計		564

(新規利用団体)

- ・明鳳流吟道寶心会(詩吟)(7月31日実施)
- ・大殿老連女性委員会(フラダンス)(10月より不定期実施) 計116人(全14回)
- ・すみれ会(華道)(3月より月2回実施) 計34人(全2回)

(大殿地区社会福祉協議会)

- ・行くっちゃ! おおどの健康教室(第1～4木曜日実施) 計171人(全10回)
- ※新型コロナウイルス感染症対策の為、5月・6月・7月・9月・1月・2月・3月(2回)は中止

【山口市福祉センター講座(7回実施)】

日付	講座名	参加者(人)	日付	講座名	参加者(人)
10月29日(金)	ヨガ①	12	11月30日(火)	手芸	14
11月12日(金)	ヨガ②	9	12月27日(月)	小さな門松づくり	14

11月16日(火)	絵手紙	5	令和4年 2月22日(火)	お花	11
11月26日(金)	ヨガ③	13	合計		78

### 【ボランティアセンター利用状況】

	利用者(人)	月平均
ボランティアセンター	597	50

### 《成果と課題》

#### ○運営方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、高齢者の安心・安全な施設利用を重点課題にして運営を行った。また、昨年度に引き続き、利便性、居心地の良さ、可能な限り柔軟に利用者のニーズに応えるという方針で運営を行った。利用者が玄関や階段で転倒する事例があり、来年度は土足での老人福祉館への入館を検討するため、利用者に聞き取りをしながら、市と協議していく。

#### ○山口市福祉センター講座

実績のある講師の魅力もあり、事後アンケートはほとんど満点に近い評価が得られた。今後も講座や講師の情報収集に努め、高齢者が楽しめる講座を企画したい。広報活動については、市社協だよりの活用に加え、チラシを作成し館内に掲示し、老人クラブの会議や児童館行事でも配布した。

また、山口児童館と共同で企画した冬の特別講座では、多世代交流を目的として行った。午前と午後に講座を分けたことで、駐車場での混雑を避けることができた。親子・孫と祖父母とで楽しく参加できる講座となった。

#### ○駐車場

同じ利用団体の縦列駐車を呼びかけ、利用者の意識は定着してきたが、駐車場不足は解消されていない。来館者の多いときは、児童遊園の一部を利用して対応している。今年度から放課後児童クラブが同じ建物内に入ったこともあり、利用者(主に高齢者)が駐車する場面で、児童の動きを含む安全面への配慮・声かけは、児童クラブや児童館スタッフと連携していく必要がある。

#### ○感染症対策

年間を通して、スタッフ・利用者を含め、マスク着用、検温、手指消毒、施設内の手摺・ベンチ・スリッパ・自動販売機ボタン等の消毒を行い、習慣化した。消毒セットを作り、貸館利用時に受付で渡し、利用後の机やイスの消毒をお願いした。次年度も引き続き、利用者も一緒に実施できる感染症対策への取り組みを継続していきたい。

## (2) 山口市秋穂コミュニティセンターの運営 \* 指定管理事業

○事業内容 平成2年度に旧秋穂町から受託したセンターで、平成23年度から指定管理者として指定を受け、円滑な運営を行っている。

#### ○年間来館者数

	開館日数 (日)	総来館者 人数(名)	地域別内訳(名)		
			秋穂地域	山口市内	その他
合計	338	8,234 (児童クラブ「秋穂児童にこにこ学級」通級児童5,635名含む)	7,204	559	471
月平均		686.2	600.3	46.6	39.3
一日平均		24.4	21.3	1.7	11.4

#### (4) 山口市阿知須健康福祉センター(おげんきかん)の運営 \* 指定管理事業

○事業内容:平成15年度に開館した施設(19年目)の指定管理者として円滑な運営を行っている。

年間延利用者 12,124名 (前年度比 713名増) 月平均 1,010名 の利用

	福祉関係	保健関係	各種 団体	定期 利用	社協 関係	高齢者 娯楽室	その他	合計
合計(名)	1,517	2,354	2,154	3,570	647	975	907	12,124
%	12.5	19.4	17.8	29.5	5.3	8.0	7.5	100

- \* 福祉関係 (3者会議、定例民協、情報交換会、福祉相談、視察研修、各種講習会など)
- \* 保健関係 (健康相談、健診事業、子育て支援事業、各種健康教室など)
- \* 各種団体 (コムニオの会、ほほえみの会、母子保健推進協議会、食生活改善推進協議会、身体障害者福祉更生会、ことぶき会、婦人会、老人クラブ、手話友の会、シルバー人材センターなど)
- \* 定期利用 (きんもくせい、3B、AMZ創作ダンス、さわやかコーラス、みのり会、民児協、いきいき体カづくり、きらら竹とんぼ、子育て支援センター、ブックスタート囲碁同好会など)
- \* 社協関係 (社協の各種事業、地区社協事業、研修会など)
- \* 高齢者娯楽室 (囲碁(文化祭)・将棋)
- \* その他 (おげんきかん祭、日赤、コープ委員会など)
- \* コロナ禍2年目として、利用者が増加した。

## 山口市の福祉概要

(令和4年3月31日現在)

人 口	188,436人 (住民基本台帳による)	
世 帯 数	89,811世帯	
高齢化率	30.10%	
65歳以上高齢者数	56,721人	
ひとり暮らし高齢者数 (R2.5.1)	7,477人	
75歳以上二人暮らし世帯数 (H2.5.1)	2,796世帯	
民生委員・児童委員数	443人	
主任児童委員数	41人	
身体障害者手帳保持者	7,085人	
療育手帳保持者	1,611人	
精神障害者保健福祉手帳保持者	1,987人	
児童扶養手当受給資格者数	1,664世帯	
被保護世帯数	1,129世帯	
保 健 福 祉 施 設 数	養護老人ホーム	3箇所
	特別養護老人ホーム	20箇所
	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	6箇所
	老人福祉センター	3箇所
	老人福祉施設福祉作業所	1箇所
	老人短期入所施設	23箇所
	デイサービスセンター(通所介護)	105箇所
	デイケアセンター(通所リハ)	10箇所
	地域包括支援センター	7箇所
	在宅介護支援センター	3箇所
	生活支援ハウス	1箇所
	介護老人保健施設	10箇所
	介護療養型医療施設	2箇所
	訪問看護ステーション	28箇所
	グループホーム(認知症)	23箇所
	宅老所	3箇所
	保 育 所	38箇所 (うち1箇所休園を含む)
	地域型保育事業所	8箇所
	自立訓練(生活訓練・宿泊型自立訓練)事業所	3箇所
	就労移行支援事業所	9箇所
	就労継続支援事業所 A 型	6箇所
	就労継続支援事業所 B 型	27箇所
	共同生活援助事業所	43箇所
	相談支援事業所	13箇所
	障害者支援施設(施設入所支援)	6箇所
	地域活動支援センター	5箇所
児童養護施設	3箇所	
児童心理治療施設	1箇所	
児童家庭支援センター	1箇所	

福祉障害児発達支援センター	1箇所
障害児通所支援事業所	50箇所
児童自立支援施設	1箇所
母子生活支援施設	1箇所
保育所	38箇所
へき地保育所	4箇所
認定こども園	6箇所